

平成 30 年度

一般入試
学生募集要項



「本学の個別学力検査等実施日程」

項 目		前 期 日 程	後 期 日 程
		全 学 部	法文学部, 教育学部, 理学部 医学部, 工学部, 農学部
インターネット出願期間	出願情報の登録期間	平成30年1月15日(月)～1月31日(水) 16時	
	検定料の支払期間	平成30年1月22日(月)～1月31日(水) 16時	
	郵送が必要な 出願書類の提出期間	平成30年1月22日(月)～1月31日(水) [1月31日(水)の消印有効] <small>(注) 郵送事情を考慮し、郵送が必要な出願書類の提出期間内に間に合うように手続きをしてください。</small>	
個 別 学 力 検 査 等		平成30年2月25日(日)～	平成30年3月12日(月)～
合 格 者 発 表		平成30年3月7日(水) 10時	平成30年3月22日(木) 10時
入 学 手 続 期 間		平成30年3月15日(木) 17時必着 原則として郵送	郵送する場合 平成30年3月27日(火) 17時必着 持参する場合 平成30年3月26日(月)・27日(火) の9時～17時

注1 個別学力検査等とは、一般入試において本学が課す学力検査・実技検査・小論文・総合問題・面接等をいいます。

注2 前期日程と後期日程では選抜方法等が異なります。また、教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース 幼年教育サブコース、中等教育コース、特別支援教育教員養成課程、社会共創学部及び医学部看護学科は後期日程での選抜は行いませんので、本要項を熟読の上、間違いのないように出願してください。

〔大学入試センター試験実施日〕

平成30年1月13日(土)・1月14日(日)

平成30年度入試より、出願方法がインターネット出願のみとなります。

志願者がパソコン等インターネット環境を持たない場合でも、保護者等の所有する端末や、公共施設等のパソコンのインターネット環境を利用する等の方法で出願は可能です。

また、出願情報の登録期間内の平日9時から17時まで入試課窓口に出願用のパソコンを用意していますので、利用を希望する場合は事前に教育学生支援部入試課にご相談ください。

上記のいずれの方法によってもインターネット環境が利用できない場合は、平成30年1月12日(金)の17時までに教育学生支援部入試課(9ページ参照)までご相談ください。

目 次

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）	2
I 募集人員	6
II 出願資格	7
III 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目の確認等	7
IV 出願手続	8
1 志願学部の選択	8
2 志望学科等の選択	8
3 出願方法（インターネット出願）	9
4 出願受付期間	9
5 郵送が必要な出願書類等の送付先	9
6 出願手順，支払方法，郵送が必要な出願書類	10
7 検定料の返還	14
8 受験票等の送付	14
9 注意事項	14
V 入学者選抜方法	15
VI 入学者選抜の教科・科目及び配点等	16
○ 法文学部	16
○ 教育学部	20
○ 社会共創学部	28
○ 理学部	32
○ 医学部	35
○ 工学部	39
○ 農学部	46
VII 個別学力検査等の実施日時及び試験場	50
VIII 合格者発表	53
IX 入学手続	53
X 受験上の注意	55
XI 障がい等を有する入学志願者の出願	56
XII 欠員補充の方法	56
XIII 初年度の諸経費等	57
○ 履修コース	58
○ 入試実施状況（平成27年度～平成29年度）	62
○ 平成29年度入学者選抜当初合格者の成績一覧	65
○ 入学試験の照会方法	66
○ 大学案内図	67
○ 入学試験個人成績及び調査書の開示	72
○ 正解・解答例又は出題意図の開示	73
○ 個人情報の取扱い	73
○ 愛媛大学入試情報サービス	74

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

法文学部

法文学部は、人文社会諸科学の知識を基盤とした幅広い教養と、実践的な知恵を身につけた、汎用的能力の高いグローバル人材の育成を目指します。グローバル化した現代社会においては、グローバル・マインド（glocal mind）（世界と自分が生きている地域とを有機的全体と捉え、地域の問題と世界全体の問題とを連関させてその解決策を考えようとする心の在り方）を持って、生涯にわたり学び続け、その成果を実践に活かせる人間を育成しなければなりません。このような理念・目的を達成するために、法文学部では、次のような資質や能力、意欲を持った学生を求めています。

〈求める入学者像〉

（知識・理解）

（1）高等学校で学習する国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科などについて、高等学校卒業相当の知識と技能を有している。

（思考・判断）

（2）物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

（興味・関心・意欲、態度）

（3）人間及び人間の創り出した文化や現実の社会から提起される諸問題に興味関心を持ち、それを大学における勉学を通じて追求し、勉学の成果をグローバル化した現代社会に活かしたいと考えている。

（技能・表現）

（4）所与の問題について、自分の考えを日本語でわかりやすく表現できる。

教育学部

教育とは次世代を創造する営みです。教育学部は子どもの心を深く理解し、幅広い教養と実践的指導力、現代的課題解決能力、専門性を兼ね備えた教員の養成を目指しています。そのために、学生は関係分野に関する専門的学識を修得し、子どもと多様にかかわり、そしてそれらを考察しつつ、資質能力の向上を図ります。

教育学部は、学校教育教員養成課程（初等教育コースと中等教育コース）と特別支援教育教員養成課程とからなり、教育学部の理念・目的を達成するために、次のような資質能力を有する学生を求めます。

〈求める入学者像〉

（1）入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。

（知識・理解）

① 高等学校で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

（知識・理解、技能）

② 教員養成カリキュラムを履修するのに必要な、教科にかかわる知識や、スポーツ、音楽、造形などの実技能力を有している。

（思考・判断・表現）

（2）物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。

（興味・関心・意欲）

（3）子どもの育ちや教育にかかわる諸問題に深い関心を持ち、教師として社会に貢献する意欲を明確に有している。

（態度）

（4）積極的に他者とかわり、対話を通して相互理解に努めようとする態度を有している。

社会共創学部

社会共創学部は、様々な地域社会の持続可能な発展のために、地域の人達と協働しながら、課題解決策を企画・立案することができ、地域社会を価値創造へと導く力を備えた人材を育成します。

このため、社会共創学部では、以下のような入学者受入の方針を定め、地域の課題解決に取り組む意欲のある人材を求めます。

〈求める入学者像〉

(知識・実技)

(1) 高等学校で履修する範囲の基礎学力又は専門的な知識ないし実技力を有している。

(思考・判断)

(2) 目標を達成するために、多面的視点から論理的に考察し、自己の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲・協働)

(3) 地域社会の持続可能な発展に関心を持ち、積極的に関わろうとする意欲を有している。

(4) 様々な人々とグループワークしながら、主体的に問題の発見とその解決に取り組む姿勢を有している。

(技能・表現)

(5) 他者の意見を理解し、自己の考えを口頭又は文書で表現できる。

理学部

科学は、数理、自然および生命を支配する原理や法則を探求する学問であり、身の回りの何故に対する合理的な答えを知りたいという知的好奇心が積み重なって発展してきました。理学部は、科学の5基幹分野（数学、物理学、化学、生物学、地球科学）に対応して5学科を設置し、先端研究・学術推進機構の沿岸環境科学研究センター、地球深部ダイナミクス研究センター、プロテオサイエンスセンター、宇宙進化研究センター、学術支援センター、総合情報メディアセンターと協働して、科学を体系的に学び幅広い応用力を身につけて社会に役立てたいと考える学生を受け入れ、教育し社会に送り出しています。

この目的のために、理学部では次のような資質を有する学生を求めます。

〈求める入学者像〉

(1) (学力の基盤) 高等学校レベルの数学および自然科学を修めており、学士課程の理学を自律的に学ぶための用意が十分にできている。

(2) (論理的思考力) 物事を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現することができる。

(3) (科学に生きる意志) 社会、文化、地球環境保全のために科学・科学技術を役立てたいと志している。

理学部では特別な職能をトレーニングする教育を行うわけではありません。むしろ基礎原理に立脚した学識の構築に重点を置いています。それ故にこそ、卒業生は幅広い応用力と深い追求力のある技術者、研究者、教育者として社会から高く評価されています。科学で未来を拓いてみたい、そんな夢を、是非、愛媛大学理学部で実現してください。

医学部

医学部の基本理念は「患者から学び，患者に還元する教育，研究，医療」です。これは「医療人は生涯にわたって病める人の身になって病苦と取り組み，人々の健康と福祉に貢献する」という精神を含んでいます。この理念に基づき，医学部は医学・看護学の知識や技術を教育するだけでなく，人間の尊厳を重んじる豊かな人間性と幅広い教養を育み，深い洞察力と生命倫理や生命の尊厳に対する深い認識を備えた医療人の育成をめざしています。また，進歩する医学・医療を生涯にわたり学習し続ける態度を身につけるため，少人数による課題探求型の教育にも力を入れています。地域医療を含む日本の保健・医療・福祉に広く貢献できる人材の育成を目指し，一般入試に加えて，推薦入試などの様々な入試方法も採用しています。

そこで，医学部は次のような資質を有する学生を求めます。

〈求める入学者像〉

(知識・理解，思考・判断)

(1) 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

(興味・関心・意欲，態度)

(2) 人間が好きで，生命に対する倫理観がしっかりしている。

(3) 医学・医療に対する意欲や関心度が高く，この分野に貢献したいという目的意識と情熱を持っている。

(4) 入学後も，生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある。

(技能・表現)

(5) 幅広い人間性，柔軟性と協調性を有し，周囲の人と良好な関係を保つことができる。

(6) 自分の考えや行動に責任を持ち，それを相手に明確に示すことができる。

工学部

工学部は，工学・技術の分野で技術者・研究者等として国内外で活躍できる人材の育成を目指しています。そのため，本学部では次のような人を求めています。

〈求める入学者像〉

(知識・理解)

(1) 工学を学ぶために必要な基礎学力を有している。

(思考・判断，技能・表現)

(2) 物事を多面的に考察し，自分の考えを論理的にまとめて表現することができる。

(興味・関心・意欲，態度)

(3) 工学の分野に興味を持ち，主体的・継続的な学びの姿勢で未知の領域にチャレンジしようとする意欲と熱意を有している。

農学部

農学部は、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関する様々な問題を解決し、自然と共生する持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題の解決に熱意をもち、主体性と多様な能力をもった学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

〈求める入学者像〉

(知識・理解)

1. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。
2. 次のいずれかに該当する。
 - A. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの課題を解くことができる。
 - B. 農業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲、態度)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

(技能・表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

I 募集人員

学部名	学科・課程等		入学定員 (人)	合計 (人)	募集人員					備考			
					一般入試		AO入試		推薦入試		社会人 入試		
					前期	後期	大学入試 センター 試験を課 さない (AO入試Ⅰ)	大学入試 センター 試験を課 さない (AO入試Ⅱ)	大学入試 センター 試験を課 さない (推薦入試Ⅰ)			大学入試 センター 試験を課 さない (推薦入試Ⅱ)	
法文学部	人文社会 科	「昼間主コース」	275	365	175	50		35	15	10	社会人入試は アドミッション・ オフィス方式		
		「夜間主コース」	90		40	20		10	10				
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育 コース	幼年教育サブコース	140	160	6							
		中等教育 コース	小学校サブコース				58	10		16	10		
			言語・社会 教育系			国語教育専攻	(5)						
		社会科教育専攻				(5)							
		英語教育専攻				(4)							
		自然科学系	数学教育専攻			(5)							
			理科教育専攻			(3)							
			技術教育専攻			(3)							
		芸術・生活 健康系	音楽教育専攻			(4)							
			美術教育専攻			(3)							
保健体育専攻	(3)												
		家政教育専攻	(3)										
		特別支援教育教員養成課程	20		12		8						
社会共創 学部		産業マネジメント学科	70	180	48		5	17					
		産業イノベーション学科	25		13		12						
		環境デザイン学科	35		25		10						
	地域資源 マネジメント 学科	農山漁村マネジメントコース	50		5								
		文化資源マネジメントコース			8		25						
		スポーツ健康マネジメントコース		12									
理学部		数学受験コース	142	225 スーパーサイエ ンス特別 コース 10人を含 む。	37								
		物理受験コース			35								
		化学受験コース			37								
		生物受験コース			27								
		地学受験コース			6		7		8				
		数学科				6		8					
		物理学科				5		7					
		化学学科				6			7				
	生物学科		8			11							
医学部		医学科	110	170	40	25			45				
		看護学科	60		33				24	3			
工学部		機械工学科	90	500	60	17		2	11				
		電気電子工学科	80		52	15		5	8				
	環境建設 工学科	土木工学コース	90 スーパーサイエ ンス特別コ ース3人を含 む。		44	10			8	5			
		社会デザインコース			10	4		3	3				
		機能材料工学科	70		38	22		3	7				
		応用化学科	90 スーパーサイエ ンス特別コ ース2人を含 む。		67	16			5				
	情報工学科	80	50	21		2	7						
農学部		食料生産学科	70	170 スーパーサイエ ンス特別コ ース2人を含 む。	37	7		7	18	若干人	前期日程の募 集人員には、社会 人入試の募集人員 (若干人)を含む。		
		生命機能学科	45		27	5		7	6	若干人			
		生物環境学科	55		27	6		5	16	若干人			
		スーパーサイエンス特別コース				17							
		合計		1,770	1,069	260	69	128	121	110	13		

注1 理学部の受験コースは、受験科目を選択するためのものです。理学部前期日程入学者の学科への所属については、60ページの4を参照してください。
注2 アドミッション・オフィス入試(AO入試)のスーパーサイエンス特別コース(募集人員17人)は、全学一括募集です。
注3 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コースの一般入試募集人員は、系ごとに定めており、表中の()の数は、各専攻の合格予定者数を示します。

Ⅱ 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、志望する学部・学科等が指定する平成30年度大学入試センター試験の教科・科目のすべてを受験した者

- (1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者

〔参考〕学校教育法施行規則第150条の規定内容

- 1 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 3 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 4 文部科学大臣の指定した者
- 5 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 6 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 7 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

注 学校教育法施行規則第150条第7号により出願する者については、本学において個別の入学資格審査を行うので、平成30年1月16日（火）までに必要書類を添えて申請してください。

なお、申請者は、申請の前に、下記まで問い合わせてください。（入学資格審査の詳細については、本学のホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/>）で公表しています。）

愛媛大学教育学生支援部入試課（松山市文京町3番）

電話番号 089-927-9172, 9173

Ⅲ 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目の確認等

- (1) 本学では、過年度の大学入試センター試験成績の利用は、行いません。
- (2) 出願にあたっては、各学部・学科等が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していることを、「Ⅵ 入学者選抜の教科・科目及び配点等（16～49ページ）」の「1 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等」の表により確認してください。特に「地理歴史、公民」と「理科」の基礎を付していない科目のいずれか又は両方において1科目のみが採用される場合、2科目受験者については、第1解答科目を採用しますので、第1解答科目が各学部・学科等が指定する大学入試センター試験の教科・科目であることを十分に確認してください。また、「理科」の基礎を付した科目が採用される場合、受験者が選択した2科目とも採用しますので、2科目とも各学部・学科等が指定する大学入試センター試験の教科・科目であることを十分に確認してください。
- (3) 各学部・学科等が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができません。

Ⅳ 出 願 手 続

1 志願学部を選択

前期日程の学部・学科等から1つ、後期日程の学部・学科等から1つを選んで出願してください。この場合、前期日程及び後期日程に本学の異なる学部・学科等を選ぶことも可能ですし、同じ学部の学科等を選ぶこともできます。

2 志望学科等の選択

(1) 教育学部志願者

前期日程……学校教育教員養成課程中等教育コースの「言語・社会教育系」は、国語教育専攻、社会科教育専攻、英語教育専攻の中から第2志望まで認めます。また、「自然科学系」は、数学教育専攻、理科教育専攻、技術教育専攻の中から第2志望まで認めます。

ただし、学校教育教員養成課程初等教育コース、学校教育教員養成課程中等教育コース「芸術・生活健康系」及び特別支援教育教員養成課程は、第1志望のみとし、第2志望は認めません。

(2) 社会共創学部志願者

志望学科等は第1志望のみとし、第2志望は認めません。

(3) 理学部志願者

前期日程……受験コースを1つ選択してください。なお、入学者の学科への所属は、1年次終了時（2月頃）に、下表のとおり、受験コースの欄に○印の付いた学科を1つ自由に選択します。

学科	受験コース	数学受験コース	物理受験コース	化学受験コース	生物受験コース	地学受験コース
数 学 科		○	-	-	-	-
物 理 学 科		○	○	○	-	-
化 学 科		○	○	○	○	-
生 物 学 科		-	-	○	○	-
地 球 学 科		○	○	○	○	○

後期日程……志望学科は第1志望のみとし、第2志望は認めません。

(4) 医学部志願者

志望学科は第1志望のみとし、第2志望は認めません。

(5) 工学部志願者

前期日程……志望学科は、第2志望まで認めます。ただし、環境建設工学科社会デザインコースは、第1志望のみとし、第2志望は認めません。

なお、第2志望学科を付して出願する者は、第2志望学科が指定する大学入試センター試験の利用教科・科目を受験していることが必要です。

後期日程……志望学科は第1志望のみとし、第2志望は認めません。

(6) 農学部志願者

前期日程……志望学科は、第3志望まで認めます。

後期日程……志望学科は、第3志望まで認めます。

3 出願方法（インターネット出願）

平成30年度入試より、出願方法がインターネット出願のみとなっています。

以下の方法により、インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の必要書類を郵送してください。

- ①インターネット出願サイトへのユーザー登録
- ②出願情報の登録
- ③検定料の支払
- ④必要書類の郵送

4 出願受付期間（前期日程及び後期日程）

出願情報の登録期間	平成30年1月15日（月）～1月31日（水） 16時
検定料の支払期間	平成30年1月22日（月）～1月31日（水） 16時
郵送が必要な出願書類の提出期間	平成30年1月22日（月）～1月31日（水） [1月31日（水）の消印有効] (注) 郵送事情を考慮し、郵送が必要な出願書類の提出期間内に間に合うように手続きをしてください。
【注意】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。 インターネットで入力が完了していても、調査書等の必要書類が期間内に郵送されていない場合は出願を受理しないので、注意してください。	

郵送が必要な出願書類は、期間内に配達されたもの及び2月1日（木）以降に配達されたもののうち、1月31日（水）以前の日本国内発信局消印があるものを受け付けます。

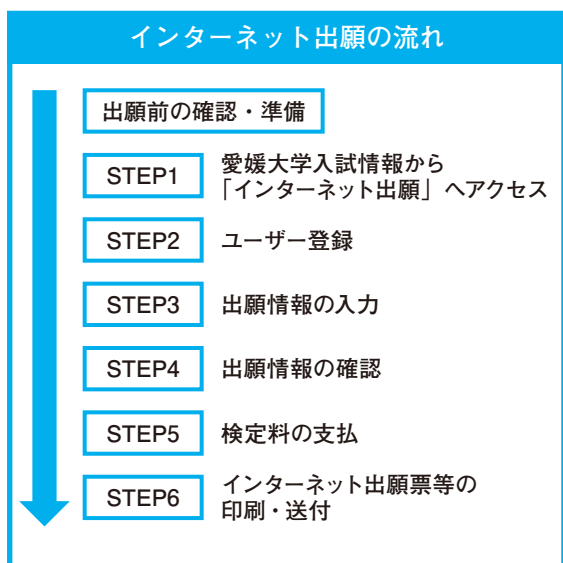
直接持参しても受理しないので注意してください。

5 郵送が必要な出願書類等の送付先

送 付 先	所 在 地	電 話 番 号
愛媛大学教育学生支援部入試課	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9172, 9173

6 出願手順、支払方法、郵送が必要な出願書類（前期日程及び後期日程）

1) 出願手順



出願前の確認・準備

①パソコンの確認

パソコンからインターネットを通じて出願情報の登録を行います。スマートフォン、タブレット端末、携帯電話では利用できない可能性があります。次の推奨環境を満たすパソコンを用意してください。また、自宅にパソコンがない場合も、学校や知人等、次の推奨環境を満たすパソコンを利用できるように確認してください。

【推奨環境】

▼ブラウザのバージョン

【Windows】Internet Explorer 11以上、Google Chrome最新バージョン、Mozilla Firefox最新バージョン
 【Mac】Safari最新バージョン、Google Chrome最新バージョン、Mozilla Firefox最新バージョン

▼ブラウザの設定

JavaScriptを有効にする。
 Cookieを有効にする。

▼その他必要なソフトウェア条件

インターネット出願票等をPDFフォーマットで確認する場合は、Adobe Reader 11.0以上を推奨します。

【注意】

スマートフォン、タブレット端末、携帯電話は推奨環境ではありません。PDFファイルの印刷を行うために相応の知識が必要となります。

②印刷できる環境の確認

インターネット出願票等のPDFファイルを印刷するために、印刷できる環境が必要です。自宅にプリンターがない場合は、学校、コンビニエンスストア等の印刷できる環境を確認してください。

③メールアドレスの準備

登録するメールアドレスは、ログイン時のIDとして利用するだけでなく、出願に関する重要なお知らせが配信されるため、「@applyjapan.com」からのメールを受け取れるように設定してください。フリーメールアドレスでも差し支えありません。

④検定料支払方法の確認

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy (Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング) を利用できます。12ページ「2) 支払方法」を確認の上、支払方法を決定してください。

⑤写真・必要書類の準備

インターネット出願では顔写真のデータ (JPEG形式、10MBまで) をアップロードします。上半身、無帽、正面向きで3か月以内に撮影したものをあらかじめ準備しておいてください。カラー、白黒は問いません。また、出願サイトに写真データをアップロードした後で写真を回転し、上半身を縦4:横3のサイズに切り出すこともできます。

なお、インターネット出願では、紙にプリントされた写真は使用できません。また、調査書等の必要書類も準備しておいてください。必要書類の詳細については、13ページ「3) 郵送が必要な出願書類」で確認してください。

⑥封筒の準備

出願用 [角形2号封筒 (24cm×33.2cm)] 及び受験票等返信用 [長形3号封筒 (12cm×23.5cm)] の市販の封筒が必要です。返信用封筒に貼る切手の額は、13ページ「3) 郵送が必要な出願書類」で確認してください。また、「前期日程」「後期日程」の両方に出席する場合は、それぞれの日程用の封筒・切手を用意してください。

STEP1

愛媛大学入試情報から「インターネット出願」へアクセス

愛媛大学入試情報>インターネット出願
https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/net_app/



※画像は全て見本であり、変更となる場合があります。



四国国立5大学インターネット出願 (ログイン画面)



STEP2

ユーザー登録

「新規登録」からユーザーID (メールアドレス) を登録すると、パスワード設定用のURLを記載したメールが配信されます。パスワードを設定するとユーザー登録が完了します。あらかじめ「@applyjapan.com」からのメールを受け取れるよう設定してください。

STEP3 出願情報の入力

「STEP2 ユーザー登録」で設定したユーザー ID・パスワードでログインし、画面に沿って出願先、科目選択、個人情報（写真データを含む。）等を入力してください。

ログイン後トップ画面：出願先を選択



個人情報入力画面



写真アップロード画面



(例) コンビニエンスストアを選択した場合の画面



支払手続きが完了しないと、「STEP6 インターネット出願票等の印刷・送付」には進めません。

STEP6 インターネット出願票等の印刷・送付

検定料の支払手続きが完了すると、出願サイトから、インターネット出願票・宛名票等が印刷できるようになります。

インターネット出願票・宛名票等の確認
A4サイズで印刷します。カラー・白黒は問いません。

出願書類の確認

必要な出願書類を確認してください。出願書類に不備があるものは受け付けません。出願書類については、13ページ「3」郵送が必要な出願書類」を確認してください。

郵送の準備

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に「宛名票」を貼り、「宛名票」の出願書類等確認欄にチェックを入れて、「インターネット出願票」とその他の出願書類を封入してください。郵送中に「宛名票」が破損した時のために、封筒裏面に志願者の住所・氏名を記入してください。

▼角2封筒に宛名票(A4)を貼りつけてください。



「宛名票」の印刷ができない場合は、次頁のように封筒に直接記入してください。

STEP4 出願情報の確認

出願情報の最終確認です。
確認画面で登録内容に間違いがないか確認してください。
これ以降は修正できません。

STEP5 検定料の支払

(平成30年1月22日(月)～1月31日(水)16時)

支払方法を選択し、支払手続きに進んでください。(詳細は12ページ「2」支払方法」を参照。)

【注意】

コンビニエンスストア及びPay-easyが利用可能な金融機関ATMでの支払は、支払方法確定後に取扱い店舗で支払手続きを行う必要があります。支払手続きの際に受付番号等を使用するため、表示される受付番号等の支払に必要な情報をメモしてください。

【宛名票が印刷できない場合の記入見本】

切手	〒790-8577
速達・簡易書留	松山市文京町3番 愛媛大学 教育学生支援部入試課 行
出願書類在中	入試区分：前期日程 志望学部：○○学部 志望学科・課程等 ○○学科 △コース 志願者 〒***-**** 住所 ○○県○○市○○*-* 氏名 □□□□

郵送

「速達・簡易書留郵便」で送付してください。

なお、高等学校等で数人分をまとめて郵送する場合は、「宛名票」を貼った封筒に1人分ずつ入れて、表に「出願書類在中」と朱書した別封等に封入してください。

【注意】

インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払手続きを行っただけでは出願手続完了にはなりません。

インターネットで入力完了していても、調査書等の出願書類が期間内に郵送されていない場合は、出願を受理しないので、注意してください。

2) 支払方法

検定料：17,000円

(法文学部「夜間主コース」は10,000円)

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy (Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング) の3種類の支払方法があります(支払方法/取扱い金融機関は、下にあるものに限りません)。

それぞれの手続等の注意事項を確認の上、支払方法を決定してください。なお、支払済の検定料は14ページの「7 検定料の返還」の返還請求できる場合を除き、返還しません。

クレジットカード

【支払期限】

平成30年1月31日(水) 16時まで

- ・Visa
- ・MasterCard



これ以外のカードは利用できません。

志願者本人の名義でなくても可

支払方法は一括払のみ

コンビニエンスストア

【支払期限】

平成30年1月31日(水) 16時まで、「STEP5 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下のコンビニエンスストアで支払手続きをしてください。

- ・ローソン
- ・ミニストップ

LAWSON



「Loppi」で手続後、レジで現金支払

- ・ファミリーマート

あなたも、コンビニに。

FamilyMart

「Famiポート」で手続後、レジで現金支払

- ・サークルKサンクス

サークルK

サンクス

「Kステーション」で手続後、レジで現金支払

- ・デイリーヤマザキ
- ・ヤマザキデイリーストア



レジで「オンライン決済」と店員に伝えて手続後、現金支払

- ・セイコーマート

Seicomart

「クラブステーション」で手続後、レジで現金支払

Pay-easy (ペイジー)

【支払期限】

平成30年1月31日(水) 16時まで、「STEP5 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下の金融機関ATM又はインターネットバンキングで支払手続きをしてください。

- ・金融機関ATM



対象金融機関* (ゆうちょ銀行等) の

Pay-easyロゴが付いているATMで支払うことができます。

コンビニ窓口・コンビニATMは使えません。

ATMで「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。

- ・インターネットバンキング

インターネットバンキングは事前に対象金融機関*への登録が必要です。インターネットバンキングにログイン後、「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。

志願者本人の名義でなくても可

* 対象金融機関

<https://www.veritrans.co.jp/payment/bank/list.html>

インターネット出願の操作方法・支払方法に関する問合せ

四国国立5大学インターネット出願専用コールセンター

受付期間：平成30年1月22日(月)～1月31日(水)

受付時間：午前10時から午後6時まで

電話番号：082-545-4855

3) 郵送が必要な出願書類

下記の書類等を一括して送付してください。

書類等	摘 要	提出を要する者
インターネット 出 願 票	<p>出願サイトからダウンロードし、A4サイズで印刷したもの 所定の箇所に平成30センター試験成績請求票を必ず貼ってください。</p> <p>〔前期日程志願者〕… 前 国公立前期日程用 〔後期日程志願者〕… 後 国公立後期日程用</p> <p>出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。</p> <p>印刷できない場合は、A4の白紙に志願者の氏名を記入し、平成30センター試験成績請求票を貼ったものをインターネット出願票の替わりとしてください。</p>	全 員
調 査 書	<p>所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの ただし、外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、ドイツアビトゥア資格取得者、フランスバカロレア資格取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者を含む。）については、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えることができます。</p> <p>また、高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者を含む。）のうち、高等学校等において科目を修得したことにより受験科目を一部免除された者は、その免除された科目の高等学校等の調査書又は成績証明書を併せて提出してください。</p> <p>注 出身高等学校において指導要録が保存年限を超えた場合又は廃校・被災により、調査書（成績証明書を含む。）が発行できない場合には、その旨を記した証明書の提出をもって、これに代えることができます。</p>	全 員
教育 学 部 実 技 検 査 票	<p>〔前期日程〕 本学のホームページ〔入試情報>入試要項（学部）>学生募集要項ダウンロード（閲覧用）〕又は出願サイトからダウンロードしA4サイズで印刷後、必要事項を記入したもの 出願サイトからは検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。</p> <p>印刷できない場合は、A4の白紙に実技検査票の内容をすべて記入してください。</p>	教育学部学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコースを志望する者 で音楽実技を選択するもの、中等教育コース芸術・生活健康系音楽教育専攻及び保健体育専攻を志望する者
入 学 資 格 認 定 書	<p>本学において個別の入学資格審査により入学資格を認定された者は、調査書に代えて、本学発行の入学資格認定書の写しを提出してください。</p>	該当者のみ
返信用封筒 (受験票送付用)	<p>市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に、出願サイトからダウンロードしA4サイズで印刷後切り抜いた宛名ラベルを貼ったもの 出願サイトからは検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。</p> <p>印刷できない場合は、封筒に志願者の郵便番号、住所、氏名を直接記入してください。</p> <p>372円分の郵便切手を必ず貼ってください。</p>	医学部医学科志願者以外の者
返信用封筒 (第1段階選抜結果通知送付用)	<p>市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に、出願サイトからダウンロードしA4サイズで印刷後切り抜いた宛名ラベルを貼ったもの 出願サイトからは検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。</p> <p>印刷できない場合は、封筒に志願者の郵便番号、住所、氏名を直接記入してください。</p> <p>682円分の郵便切手を必ず貼ってください。</p>	医学部医学科志願者のみ

7 検定料の返還

次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合
- ④ 医学部医学科志願者で、第1段階選抜に不合格となった場合
- ⑤ 出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合

返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送してください。

上記④の場合は、13,000円を返還します。返還手続については、第1段階選抜結果通知の際にお知らせします。

上記⑤の場合は、13,000円（法文学部の「夜間主コース」は、7,800円）を返還します。返還手続については、「検定料相当額返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒790-8577 松山市道後樋又10番13号 愛媛大学財務部財務企画課出納チーム 電話番号 089-927-9074, 9077 Eメール suitou@stu.ehime-u.ac.jp

8 受験票等の送付（前期日程及び後期日程）

受験票、連絡事項その他は、平成30年2月7日(水)頃発送します。

なお、受験票等が平成30年2月14日(水)までに未着の場合は、教育学生支援部入試課（9ページ参照）へ連絡してください。

9 注意事項

- (1) 国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。詳細は、公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) を参照のこと。) を志願する者は、「前期日程」の大学・学部等から1つ、「後期日程」の大学・学部等から1つ、「中期日程」の公立大学・学部等から1つの合計3つの大学・学部等に出願することができます。

したがって、「前期日程」の大学・学部等から2つ又は「後期日程」の大学・学部等から2つを選んで出願することはできません。

- (2) 前期日程の大学に合格し、入学手続を完了した者は、「後期日程」又は「中期日程」の大学・学部等を受験しても合格者とはなりません。

なお、国公立大学の分離・分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、合否及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

- (3) 国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。詳細は、公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）を参照のこと。）の推薦入試に合格した者は、本学の前期・後期日程試験を受験しても、合格者とはなりません。ただし、特別の事情があり、推薦した学校長から、平成30年2月14日（水）までに「推薦入学辞退願」を提出し、当該大学・学部等の許可を得た場合は、この限りではありません。
- (4) 国公立大学のAO入試に合格し、入学手続を完了した者は、本学の前期・後期日程試験を受験しても合格者とはなりません。
- AO入試の合格者は、平成30年2月14日（水）までに「入学辞退届」を提出しない場合は、前期・後期日程試験の合格者とはなりません。
- (5) 出願書類（インターネット出願の入力情報も含む。以下同じ。）受理後は、いかなる理由があっても出願書類の記載内容の変更は認めません。また、出願書類は返還しません。
- (6) 出願書類に虚偽の記載があった者は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (7) 愛媛大学受験票及び大学入試センター試験受験票は、個別学力検査等受験、入学手続及び入学試験個人成績等開示請求の際必要ですので、紛失したり、汚損したりすることのないように大切に保管しておいてください。
- (8) 各学部・学科等が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができませんので、自分が受験した教科・科目と志願する学部・学科等が課しているセンター試験の教科・科目との照合を必ず行ってください。
- (9) 各学部・学科等が課している個別学力検査等の教科・科目等を1つでも受験しなかった場合は、合格者選考の対象となりません。
- (10) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するために必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学（提供大学）の入試過去問題を使用して出題することがあります。必ず使用するとは限りません。
- 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、ホームページで公表します。
- 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しております。

<http://www.nyushikakomon.jp/>

V 入学者選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、大学入試センター試験及び本学が実施する個別学力検査等の結果並びに調査書の内容により、合否判定基準に基づき判定します。
- (2) 医学部医学科においては、入学志願者の募集人員に対する倍率が前期日程において約6倍を上回った場合、後期日程において約20倍を上回った場合、大学入試センター試験の成績及び調査書の内容により、第1段階選抜を行い、その合格者に対してのみ個別学力検査等を行います。
- 第1段階選抜の結果については、前期日程・後期日程ともに平成30年2月7日（水）頃に「速達・簡易書留郵便」で発送します。
- 第1段階選抜合格者には、選抜結果通知書、愛媛大学受験票及び連絡事項を送付します。不合格者には、選抜結果通知書及び検定料返還についての書類等を送付します。

Ⅵ 入学者選抜の教科・科目及び配点等

法文学部

1 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

日程	学科等	受験を要する教科・科目等 教科・科目の採用方法				本人 確認欄		
前期 日程	人文社会科学 「昼間主コース」 「夜間主コース」	5又は 6教科 7科目 (*1)	国語	「国語」	必須		2教科 3科目 選択 (*1)	
			地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	2科目選択			
			公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」				
			数 学	「数学I」, 「数学I・数学A」, 「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1又は2科目選択			
				「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	A		A 又はB 又はC 又はD
				「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1	B		
				「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	C		
		「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1	D				
		外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注4参照)	1科目選択				
		◆「数学」2科目及び「理科(パターンC)」の計4科目を受験している場合は、高得点順に成績を採用する。(*1)(*2) ◆「数学」2科目及び「理科(パターンD)」の計4科目を受験している場合は、次のとおり成績を採用する。 第1に「数学」の2科目のうち高得点1科目と「理科」の第1解答科目を採用する。 第2に、第1で採用されていない「数学」の科目と「理科」の第2解答科目のうち高得点1科目を採用する。 ◇「理科」において、同一名称を含む科目の選択は認めない。 (注1, 注2参照)						
後期 日程	人文社会科学 「昼間主コース」 「夜間主コース」	3教科 3科目 (*1)	国語	「国語」	必須		1科目 選択 (*1)	
			地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」				
			公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」				
			数 学	「数学I」, 「数学I・数学A」, 「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1科目選択			
				「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	A		A 又はB
				「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1	B		
		外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注4参照)	1科目選択				
◆「地理歴史, 公民」, 「数学」, 「理科」において計2科目以上を受験している場合は、「地理歴史, 公民」の第1解答科目, 「数学」, 「理科」の基礎を付した科目, 「理科」の基礎を付していない科目(2科目を受験している場合は、第1解答科目)のうち高得 点1科目を採用する。(*2) (注1参照)								

(*1) 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

(*2) 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目の合計の得点とします。

注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

注2 ◇「理科」における同一名称を含む科目とは、「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」をいいます。

注3 大学入試センター試験の「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業(見込み)者以外の者に限ります。

注4 大学入試センター試験の「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は、筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

大学入試センター試験の理科の選択方法については、次のように表記しています。

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目を選択→A

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択→B

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目及び「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択→C

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目を選択→D

2 個別学力検査等の教科・科目等

日程	学 科 等	教 科	科 目 等	試験時間
前期日程	人文社会学科 「昼間主コース」	国 語	国語総合・現代文B・古典B	100分
		外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ	100分
	人文社会学科 「夜間主コース」	国 語	国語総合・現代文B・古典B	100分
後期日程	人文社会学科 「昼間主コース」	小 論 文		120分
	人文社会学科 「夜間主コース」			

3 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点												
前期日程	試験 教科等	大学入試センター試験								個別学力検査等		
		国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	計	国語	外国語
				①	②	①	②					
	人文社会学科「昼間主コース」	200	100	100	(50)	(50)	(50)	(50) 又は (100)	200	750	250	250
後期日程												
後期日程	試験 教科等	大学入試センター試験								個別学力検査等		
		国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	計	小論文	計
				①	②	①	②					
	人文社会学科「昼間主コース」	200	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	500	200	200
人文社会学科「夜間主コース」	200	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	500	200	200	

注1 () は、選択科目の配点を示します。

注2 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなし、2科目の合計の得点とします。

注3 大学入試センター試験の「英語」の配点は、下記のとおりとします。

筆記	リスニング	計	リスニングを 免除された者
160点	40点	200点	筆記を200点とする。

注4 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。

「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」 → 数学①

「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 → 数学②

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 → 理科①

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 → 理科②

4 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

日程	学科等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
前期日程	人文社会科学 「昼間主コース」 「夜間主コース」	調査書	学習成績，特別活動の記録等の記載内容に基づき総合的に評価する。	平成30年3月7日(水) 午前10時
		国語	高等学校学習指導要領（国語）に示された内容に基づき，人間活動の基盤となる言語による思考・認識の能力を評価する。 具体的には，近代以降の文章や古典の文章をもとに，文字力・語彙力・文法力など言語にかかわる力，思考力・想像力・認識力など読解力にかかわる力，さらに，それらの力の表出を通して捉えられる表現する力などを総合的に評価する。	
	人文社会科学 「昼間主コース」	外国語	「英語」の出題範囲はコミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲであるので，その範囲内での総合的基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 基礎学力とは，幅広い英語読解力と豊かな英語表現力を言う。従って，本学部の英語試験は，センター試験ではカバーできない，総合的な読解力と表現力の達成度を採点・評価基準とする。	平成30年3月7日(水) 午前10時
後期日程	人文社会科学 「昼間主コース」 「夜間主コース」	調査書	学習成績，特別活動の記録等の記載内容に基づき総合的に評価する。	平成30年3月22日(木) 午前10時
		小論文	以下の諸点を評価の目安とする。 1. 題意を十分把握していること。 2. 具体的な考察がなされていること。 3. 論理的な考察がなされ，論理の逸脱，飛躍がないこと。 4. 構想力が優れていること。 5. 表現力が優れていること。 6. 発想がユニークであること。 7. 誤字・脱字のないこと。	

5 合否判定基準

〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

日程	事 項 学 科 等	合 否 判 定 基 準		
		総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同 点 者 の 順 位 決 定 基 準
前期日程・後期日程	人文社会学科 「昼間主コース」 「夜間主コース」	○		同点者は、同順位とする。

教育学部

1 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

日程	課程等	受験を要する教科・科目等 教科・科目の採用方法				本人 確認欄			
前期 日程	学校教育教員養成課程 初等教育コース 幼年教育サブコース 小学校サブコース 中等教育コース 言語・社会教育系 国語教育専攻 社会科教育専攻 英語教育専攻 自然科学系 数学教育専攻 理科教育専攻 技術教育専攻 芸術・生活健康系 音楽教育専攻 美術教育専攻 保健体育専攻 家政教育専攻	5又は 6教科 7科目 (*1)	国語	「国語」	必須				
			数 学	「数学Ⅰ・数学A」	必須				
				「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1科目選択				
			地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1又は2科目選択		2教科 3科目 又は 3教科 3科目 選択 (*1)		
			公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理 政治・経済」					
			理 科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	A		A 又は C 又は D	
				「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	C			
				「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1				
			外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注4参照)	1科目選択				
			<p>◆「地理歴史, 公民」において2科目及び「理科」において基礎を付した科目と基礎を付していない科目を受験している場合は、次のとおり成績を採用する。(*2) 第1に「地理歴史, 公民」の第1解答科目と「理科」の基礎を付した科目を採用する。 第2に「地理歴史, 公民」の第2解答科目と「理科」の基礎を付していない科目のうち高得点1科目を採用する。 ◆「地理歴史, 公民」において2科目及び「理科」において基礎を付していない科目を2科目受験している場合は、「地理歴史, 公民」の第1解答科目と「理科」の基礎を付していない科目2科目を採用する。 ◇「理科」において、同一名称を含む科目の選択は認めない。</p> <p style="text-align: right;">(注1, 注2参照)</p>						
後期 日程	特別支援教育教員養成課程	5教科 6科目 (*1)	国語	「国語」	必須				
			数 学	「数学Ⅰ・数学A」	必須				
				「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1科目選択				
			地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択				
			公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理 政治・経済」					
			理 科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	A	A 又はB	1科目選択 (*1)	
				「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1	B			
			外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注4参照)	1科目選択				
			<p>◆「地理歴史, 公民」において2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 ◆「理科」において、基礎を付した科目と基礎を付していない科目を受験している場合は、高得点1科目を採用する。(*2) 「理科」において、基礎を付していない科目を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。</p> <p style="text-align: right;">(注1参照)</p>						
			後期 日程	学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース	5又は 6教科 7科目 (*1)	国語	「国語」	必須	
数 学	「数学Ⅰ・数学A」	必須							
	「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1科目選択							
地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1又は2科目選択					2教科 3科目 又は 3教科 3科目 選択 (*1)		
公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理 政治・経済」								
理 科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2				A		A又はC 又はD	
	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2				C			
	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1							
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注4参照)	1科目選択							
<p>◆「地理歴史, 公民」において2科目及び「理科」において基礎を付した科目と基礎を付していない科目を受験している場合は、次のとおり成績を採用する。(*2) 第1に「地理歴史, 公民」の第1解答科目と「理科」の基礎を付した科目を採用する。 第2に「地理歴史, 公民」の第2解答科目と「理科」の基礎を付していない科目のうち高得点1科目を採用する。 ◆「地理歴史, 公民」において2科目及び「理科」において基礎を付していない科目を2科目受験している場合は、「地理歴史, 公民」の第1解答科目と「理科」の基礎を付していない科目2科目を採用する。 ◇「理科」において、同一名称を含む科目の選択は認めない。</p> <p style="text-align: right;">(注1, 注2参照)</p>									

(*1) 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

(*2) 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目の合計の得点とします。

- 注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
- 注2 ◇「理科」における同一名称を含む科目とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」をいいます。
- 注3 大学入試センター試験の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業（見込み）者以外の者に限ります。
- 注4 大学入試センター試験の「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

大学入試センター試験の理科の選択方法については、次のように表記しています。

「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目を選択→A

「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目を選択→B

「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目を選択→C

「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目を選択→D

教育学部

2 個別学力検査等の教科・科目等

日程	課程等			教科	科目等	試験時間	備考		
前期日程	学校教育	初等教育	幼年教育サブコース	国語	国語総合・現代文B・古典B	100分			
				数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B (注1参照)				
				理科	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学から1科目選択 (注3～注6参照)				
				〔国語, 数学, 理科から1教科選択〕					
				小論文				90分	
				〔国語, 数学, 理科, 実技検査から1教科選択〕					
		小学校	小学校サブコース	国語	国語総合・現代文B・古典B	100分			
				数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B (注1参照)				
				理科	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学から1科目選択 (注3～注6参照)				
				実技検査	音楽実技, 美術実技, 体育実技から1つ選択			実技検査内容については23ページを参照してください。	
				〔国語, 数学, 理科, 実技検査から1教科選択〕					
				小論文				90分	
	教員養成課程	言語・社会教育系	国語教育専攻 社会科教育専攻 英語教育専攻	国語	国語総合・現代文B・古典B	100分			
				外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ				
				〔国語, 外国語から1教科選択〕					
				小論文			90分		
				自然科学系	数学教育専攻 理科教育専攻 技術教育専攻		数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (注2参照)	100分
							理科	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学から1科目選択 (注3～注6参照)	
		〔数学, 理科から1教科選択〕							
		小論文				90分			
		芸術・生活健康系	音楽教育専攻			実技検査 (音楽実技)		実技検査内容については24ページを参照してください。	
						小論文	90分		
			美術教育専攻	実技検査 (美術実技)		実技検査内容については24ページを参照してください。			
				小論文	90分				
保健体育専攻	実技検査 (体育実技)			実技検査内容については24ページを参照してください。					
	小論文		90分						
家政教育専攻	国語	国語総合・現代文B・古典B	100分						
	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B (注1参照)							
	〔国語, 数学から1教科選択〕								
	小論文			90分					
	特別支援教育教員養成課程	国語		国語総合・現代文B・古典B	100分				
		数学		数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B (注1参照)					
〔国語, 数学から1教科選択〕									
小論文		90分							
後期日程	学校教育教員養成課程	初等教育コース 小学校サブコース	面接 (口頭試問を含む。)						

注1 学校教育教員養成課程 中等教育コース 自然科学系以外に課す数学のうち, 数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Aは全範囲から出題します。数学Bについては, 「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。

注2 学校教育教員養成課程 中等教育コース 自然科学系に課す数学のうち, 数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学Aは全範囲から出題します。数学Bは, 「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。

注3 理科の「物理基礎」, 「物理」は, 全範囲から出題します。

注4 理科の「化学基礎」, 「化学」は, 全範囲から出題します。

注5 理科の「生物基礎」, 「生物」は, 全範囲から出題します。

注6 理科の「地学基礎」, 「地学」は, 全範囲から出題します。

実技検査内容

学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース
音楽実技を選択した者

検 査 内 容
<p>1 音楽理論 音楽に関する筆記試験（楽典，音感に関する問題を含む。）</p> <p>2 選択実技 下記の①～③の中から1つ選択する。</p> <p>① 任意の独唱曲（日本の伝統的な歌唱による曲を含む。）を原語及び暗譜で演奏する。アリアの場合は原調で歌うこととする。また，歌曲，アリアはピアノ伴奏とし，願書に添えて伴奏譜を提出する。</p> <p>② 任意の独奏曲（箏，三味線，尺八等の日本の伝統的な楽器のための曲を含む。）を暗譜で演奏する。ピアノ以外の独奏曲は，無伴奏で演奏する。なお，ピアノ以外の楽器を使用する場合は各自で準備する。ただし，試験室に受験者本人が一人で持ち込める楽器に限る。</p> <p>③ 小学校・中学校の音楽の教科書や教材曲集等に掲載されている任意の歌唱教材（合唱曲を含む。）を弾き歌いで演奏する。楽譜をみてもよい。合唱曲は任意のパートもしくは主旋律を歌う。</p>

注1 選択実技の任意の独唱曲及び独奏曲は自作曲も可とする。ただし，弾き歌い，又は無伴奏で演奏することとし，願書に添えて楽譜を提出する。

注2 受験者は上履きを持参すること。

学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース
美術実技を選択した者

検 査 内 容
<p>小学校図画工作科の授業で児童に示す事例作品の制作</p>

注1 「A表現」の絵，立体，工作の中から出題する。

注2 必要な材料，用具は本学で準備する。

学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース
体育実技を選択した者

検 査 内 容
<p>基礎実技 器械運動，陸上運動，ボール運動の3領域</p>

注 受験者は，次のものを持参すること。

・運動に適する服装 ・屋内用シューズ（*実技検査は体育館で実施する。）

学校教育教員養成課程 中等教育コース 音楽教育専攻

検 査 内 容
<p>1 音楽理論 音楽に関する筆記試験（楽典，音感に関する問題，創作，論述問題を含む。）</p> <p>2 ピアノ 任意のピアノ曲を暗譜で演奏する。</p> <p>3 弾き歌い 中学校・高等学校の音楽の教科書や教材曲集等に掲載されている任意の歌唱教材（合唱曲を含む。）を弾き歌いで演奏する。楽譜をみてもよい。合唱曲は任意のパートもしくは主旋律を歌う。</p> <p>4 選択実技 下記の①②のどちらかを選択する。</p> <p>① 任意の独唱曲（日本の伝統的な歌唱による曲を含む。）を原語及び暗譜で演奏する。アリアの場合は原調で歌うこととする。また，歌曲，アリアはピアノ伴奏とし，願書に添えて伴奏譜を提出する。</p> <p>② 任意の独奏曲（箏，三味線，尺八等の日本の伝統的な楽器のための曲を含む。）を暗譜で演奏する。ピアノの独奏曲は，2と異なる曲とする。ピアノ以外の独奏曲は，無伴奏で演奏する。なお，ピアノ以外の楽器を使用する場合は各自で準備する。ただし，試験室に受験者本人が一人で持ち込める楽器に限る。</p>

- 注1 選択実技の任意の独唱曲及び独奏曲は自作曲も可とする。ただし，弾き歌い，又は無伴奏で演奏することとし，願書に添えて楽譜を提出する。
- 注2 上記の試験は，入学後における研究分野と関連するものではなく，卒業研究分野は，演奏（声楽・ピアノ・管楽器），作品発表，論文の中から選択することとする。
- 注3 受験者は上履きを持参すること。

学校教育教員養成課程 中等教育コース 美術教育専攻

検 査 内 容
鉛筆による静物デッサン

- 注1 描画材料（鉛筆，消しゴム他）は，各自持参すること。
- 注2 カルトン，画用紙（四つ切りサイズを使用する。）は，本学で準備する。

学校教育教員養成課程 中等教育コース 保健体育専攻

検 査 内 容
<p>1 共通実技 体づくり運動</p> <p>2 選択実技 A) 陸上競技，器械運動から1種目を選択 B) バスケットボール，サッカー，バレーボールから1種目を選択</p>

- 注 受験者は，次のものを持参すること。
- ・運動に適する服装
 - ・屋内用シューズ（*実技検査は体育館で実施する。）

3 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

日程		大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点																
前期日程	課程等	試験 教科等	大学入試センター試験								個別学力検査等							
			国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	計	国語	数学	理科	外国語	小論文	実技	計
						①	②	①	②									
前期日程	初等教育サブコース	幼年教育サブコース	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900	(200)	(200)	(200)	-	200	-	400
		小学校サブコース	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900	(200)	(200)	(200)	-	200	(200)	400
	言語・社会教育系	国語教育専攻	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900	(200)	-	-	(200)	100	-	300
		社会科教育専攻	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900	(200)	-	-	(200)	100	-	300
		英語教育専攻	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900	(200)	-	-	(200)	100	-	300
	自然科学系	数学教育専攻	150	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	150	800	-	(300)	(300)	-	100	-	400
		理科教育専攻	150	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	150	800	-	(300)	(300)	-	100	-	400
		技術教育専攻	150	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	150	800	-	(300)	(300)	-	100	-	400
	芸術・生活健康系	音楽教育専攻	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900	-	-	-	-	100	500	600
		美術教育専攻	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900	-	-	-	-	100	500	600
		保健体育専攻	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900	-	-	-	-	100	500	600
		家政教育専攻	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900	(200)	(200)	-	-	100	-	300
特別支援教育教員養成課程		200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	800	(200)	(200)	-	-	200	-	400	

後期日程		大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点											
課程等	試験 教科等	国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	計	個別学力検査等		
					①	②	①	②			面接	計	
初等教育サブコース	小学校サブコース	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900	200	200	

注1 () は、選択科目の配点を示します。

注2 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなし、2科目の合計の得点とします。

注3 大学入試センター試験の「英語」の配点は、下記のとおりとします。

英語の配点	筆記	リスニング	計	リスニングを 免除された者
150点としている場合	120点	30点	150点	筆記を150点とする。
200点としている場合	160点	40点	200点	筆記を200点とする。

注4 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。

- 「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」 → 数学①
- 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 → 数学②
- 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 → 理科①
- 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 → 理科②

教育学部

4 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

日程	課程等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
前 期 日 程	全課程共通	調査書	学習成績，特別活動の記録等の記載内容に基づき総合的に評価する。	平成30年3月7日(水) 午前10時
		小論文	学校教育に関する諸問題への関心，教員として社会に貢献する意欲，思考力・判断力・表現力などを総合的に評価する。	
	学校教育教員養成課程 初等教育コース 幼年教育サブコース 小学校サブコース 中等教育コース 言語・社会教育系 国語教育専攻 社会科教育専攻 英語教育専攻 家政教育専攻 芸術・生活健康系 特別支援教育教員養成課程	国語	高等学校学習指導要領（国語）に示された内容に基づき，人間活動の基盤となる言語による思考・認識の能力を評価する。 具体的には，近代以降の文章や古典の文章をもとに，文字力・語彙力・文法力など言語にかかわる力，思考力・想像力・認識力など読解力にかかわる力，さらに，それらの力の表出を通して捉えられる表現する力などを総合的に評価する。	平成30年3月7日(水) 午前10時
		外国語	外国語（英語）での読解に関する問題，外国語（英語）での表現に関する問題を通して，思考力・判断力・表現力及び外国語（英語）コミュニケーション能力を総合的に評価する。	
		数学	学校教育教員養成課程 中等教育コース 自然科学系を除く課程・コースは，数学Ⅰ・数学Ⅱ，数学A・数学B，また，学校教育教員養成課程 中等教育コース 自然科学系は，前記に加えて数学Ⅲの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し，応用することができるか問うとともに，広く数学についての理解力，論理的思考力，計算力，記述力を総合的に評価する。	
		物理	物理基礎・物理の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 自然現象，実験や観測などにおける物理現象，物理法則の理解度を問う出題を通じて，物理学に対する理解力，論理的思考力，推理力，記述力を総合的に評価する。	
		化学	化学基礎・化学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 観察や実験に基づいて化学的な諸現象を理解する力，化学の基礎的な諸法則の理解度及び諸法則を基に正しい結論を導く力を問うとともに，化学に対する論理的思考力，推理力，記述力を総合的に評価する。	
	生物	生物基礎・生物の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 生物や生物現象の特徴は，多くの要因が関与して複雑であり，しかも，それらが有機的関連を持っていることである。このような生物の仕組みや働きについての基本的概念や原理・法則が理解できているかを問うとともに，それらを分析的並びに総合的に考察する能力が養われているかを評価する。		
	地学	地学基礎・地学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 地学全般にわたる基礎知識，地球環境や身近な自然に対する観察力，自然現象から本質的な情報を取り出し考察する能力等を重要視するとともに，理解力，論理的思考力，推理力，記述力を総合的に評価する。		
	学校教育教員養成課程 初等教育コース 幼年教育サブコース 小学校サブコース 中等教育コース 自然科学系 数学教育専攻 理科教育専攻 技術教育専攻	音楽 実技	小学校の音楽科における表現及び鑑賞などの活動を指導する上で求められる基礎的な音楽理論の理解度と音楽性（表現力，創造力）を記述および演奏の試験を通して，総合的に評価する。	
美術 実技		「表現」及び「鑑賞」についての幅広い活動に関する美術の技能について評価する。なかでも小学校の教員を目指す上で求められる基礎的な造形的表現力について，児童に示す事例作品の制作を通してその妥当性を評価する。		
体育 実技		各種の運動における合理的な実践にむけた体育の技能について評価する。なかでも，小学校の教員を目指す上で求められる運動に関する基礎的な知識・技能とそれらを活用した思考力・判断力・表現力などを評価する。		

日程	課程等	教科等	採点・評価基準(一般的基準)	正解・解答例又は出題意図の開示時期
前期日程	学校教育教員養成課程 中等教育コース 芸術・生活健康系 音楽教育専攻	音楽実技	中学校・高等学校の音楽科における表現及び鑑賞などの幅広い活動を指導する上で求められる音楽理論の理解度と音楽性(表現力、創造力)を記述および演奏の試験を通して、総合的に評価する。	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース 芸術・生活健康系 美術教育専攻	美術実技	「表現」及び「鑑賞」についての幅広い活動に関する美術の技能について評価する。なかでも中学校および高等学校の教員を目指す上で求められる造形的表現力について、その基礎的な技能と造形的思考力を総合的に判断する。	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース 芸術・生活健康系 保健体育専攻	体育実技	各種の運動における合理的な実践にむけた保健体育の技能について評価する。なかでも、中学校および高等学校の教員を目指す上で求められる運動に関する知識・技能とそれらを活用した思考力・判断力・表現力などを評価する。	
後期日程	学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース	調査書	学習成績、特別活動の記録等の記載内容に基づき総合的に評価する。	
		面接	初等教育についての関心、小学校教員として社会へ貢献する意欲、思考力、判断力、表現力を総合的に評価する。	

5 合否判定基準

[○印が当該事項に該当することを示す。]

日程	事項 課程等	合 否 判 定 基 準		
		総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同点者及び第2志望の順位決定基準
前期日程	学校教育教員養成課程 中等教育コース 言語・社会教育系 自然科学系 以外	○		同点者は、同順位とする。
	学校教育教員養成課程 中等教育コース 言語・社会教育系 自然科学系	○		各専攻において、第1志望者のみで総合点により順位を付ける。 なお、第1志望者が合格予定者数に満たない専攻があった場合、当該専攻を第2志望とした者の総合点により順位を付ける。 ①同点者は、小論文の得点により順位を付ける。 ②①によっても同順位者がいる場合は、大学入試センター試験の総得点により順位を付ける。 ③②によっても同順位者がいる場合は、同順位とする。 注 第1志望専攻で合格となった場合は、第2志望専攻では合格とならない。
後期日程	学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース	○		①同点者は、大学入試センター試験の総得点により順位を付ける。 ②大学入試センター試験の総得点が同点の場合は、同順位とする。

社会共創学部

1 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

日程	学 科 等	受 験 を 要 す る 教 科 ・ 科 目 等 教 科 ・ 科 目 の 採 用 方 法				本 人 確 認 欄			
前 期 日 程	産業マネジメント学科	5 又は 6 教科 7 科目 (*1)	国 語	「国語」		必須	3教科 5科目 又は 4教科 5科目 選択 (*1)		
			地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」		1 又は 2 科目選択			
			公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」					
			数 学	「数学I」, 「数学I・数学A」, 「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)		1 又は 2 科目選択			
			理 科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」		から2		A	A 又はB 又はC 又はD
				「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」		から1		B	
				「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」		から2		C	
		「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」		から1	D				
		外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注4参照)		1 科目選択				
		<p>◆ 「地理歴史, 公民」, 「数学」 及び 「理科 (パターンC)」 において, 計6科目を受験している場合は, 次のとおり成績を採用する。 (*1) (*2) 第1に「地理歴史, 公民」の第1解答科目を採用する。 第2に「地理歴史, 公民」の第2解答科目, 「数学」 及び 「理科」 のうち高得点4科目を採用する。</p> <p>◆ 「地理歴史, 公民」, 「数学」 及び 「理科 (パターンD)」 において, 計6科目を受験している場合は, 次のとおり成績を採用する。 第1に「地理歴史, 公民」の第1解答科目と「理科」の第1解答科目を採用する。 第2に「地理歴史, 公民」の第2解答科目, 「数学」 及び 「理科」 の第2解答科目のうち高得点3科目を採用する。</p> <p>◇ 「理科」 において, 同一名称を含む科目の選択は認めない。</p> <p style="text-align: right;">(注1, 注2参照)</p>							
前 期 日 程	産業イノベーション学科 環境デザイン学科 地域資源マネジメント学科 文化資源マネジメントコース	5 教科 5 科目 (*1)	国 語	「国語」		必須	1 科目選択		
			地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」		1 科目選択			
			公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」					
			数 学	「数学I」, 「数学I・数学A」, 「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)		1 科目選択			
			理 科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」		から2		A	A 又はB 又はB 又はB
				「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」		から1		B	
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注4参照)		1 科目選択						
<p>◆ 「地理歴史, 公民」 において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 「数学」 において2科目を受験している場合は, 高得点の科目を採用する。 「理科」 において, 基礎を付した科目と基礎を付していない科目を受験している場合は, 高得点1科目を採用する。(*2) 「理科」 において, 基礎を付していない科目を2科目受験している場合は, 第1解答科目を採用する。</p> <p style="text-align: right;">(注1参照)</p>									
前 期 日 程	地域資源マネジメント学科 農山漁村マネジメントコース スポーツ健康マネジメントコース	3 教科 3 科目 (*1)	国 語	「国語」		必須	1 科目 選択 (*1)		
			地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」					
			公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」					
			数 学	「数学I」, 「数学I・数学A」, 「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)					
			理 科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」		から2		A	A 又はB
				「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」		から1		B	
		外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注4参照)		1 科目選択				
<p>◆ 「地理歴史, 公民」, 「数学」, 「理科」 において計2科目以上を受験している場合は, 「地理歴史, 公民」の第1解答科目, 「数学」, 「理科」の基礎を付した科目, 「理科」の基礎を付していない科目 (2科目を受験している場合は, 第1解答科目) のうち高得 点1科目を採用する。(*2)</p> <p style="text-align: right;">(注1参照)</p>									

(*1) 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

(*2) 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目の合計の得点とします。

注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。

注2 ◇「理科」における同一名称を含む科目とは, 「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」をいいます。

注3 大学入試センター試験の「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業 (見込み) 者以外の者に限ります。

注4 大学入試センター試験の「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者 (リスニングを免除された者を除く) は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

大学入試センター試験の理科の選択方法については, 次のように表記しています。

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目を選択→A

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択→B

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目及び「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択→C

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目を選択→D

2 個別学力検査等の教科・科目等

日程	学 科 等	教 科	科 目 等	試験時間	
前 期 日 程	産業マネジメント学科	総合問題		90分	
	産業イノベーション学科	面 接			
	環 境 デ ザ イ ン 学 科	外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ		100分
		面 接			
	地域資源 マネジメント 学科	農 山 漁 村 マネジメントコース	面 接		
			グループディスカッション		
		文 化 資 源 マネジメントコース	面 接		
	グループディスカッション				
ス ポ ー ツ 健 康 マネジメントコース	実技検査（体育実技）				
	面 接				

実技検査内容

地域資源マネジメント学科 スポーツ健康マネジメントコース

検 査 内 容
<p>基礎的運動能力テスト</p> <p>新体力テスト（12～19歳対象）のテスト項目（9種類）の中から、当日指定された1つ以上のテスト項目の測定を実施する。</p> <p>新体力テスト項目は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げである。</p> <p>（参考資料：新体力テスト実施要項（12～19歳対象） http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/stamina/05030101/002.pdf</p> <p>*なお、本実技検査での各テスト項目の測定方法は、新体力テスト実施要項に記載されている方法と大きく異なる範囲で変更されることがある。以下にその例を2つ示す。</p> <p>〈長座体前屈での例〉 実施要項：2回実施してよい方の記録をとる。→ 本実技検査：1回のみの実施とする。</p> <p>〈持久走（1500m/1000m走）での例〉 実施要項：トラックを使用して行う。→ 本実技検査：体育館での折り返し走とする。</p>

注 受験者は、次のものを持参してください。 ・運動に適する服装 ・屋内用シューズ（*実技検査は体育館で実施します。）

3 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

日程	大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点																
	学 科 等	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験								個 別 学 力 検 査 等							
		国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	計	外国語	総合 問題	実 技	面 接	ディ スカ ッション	計	
前 期 日 程	産業マネジメント学科	200	(△)	(△)	(△)	(△)	(△)	(△)	(△)	200	700	-	300	-	-	-	300
	産業イノベーション学科	100	(100)	(100)	(150)	(150)	(150)	(150)	200	700	-	-	-	300	-	-	300
	環 境 デ ザ イ ン 学 科	100	(100)	(100)	(200)	(200)	(200)	(200)	100	700	200	-	-	100	-	-	300
	地域資源 マネジ メント 学科	農山漁村マネジメントコース	150	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	150	500	-	-	-	300	200	500
		文化資源マネジメントコース	200	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	700	-	-	-	150	150	300
		スポーツ健康マネジメントコース	150	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	150	500	-	-	300	200	-	500

注1 () は、選択科目の配点を示します。

注2 △は、最高得点の科目の配点を100点とし、その他の4科目の配点は50点とします。

注3 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなし、2科目の合計の得点とします。

注4 大学入試センター試験の「英語」の配点は、下記のとおりとします。

英語の配点	筆記	リスニング	計	リスニングを 免除された者
100点としている場合	80点	20点	100点	筆記を100点とする。
150点としている場合	120点	30点	150点	筆記を150点とする。
200点としている場合	160点	40点	200点	筆記を200点とする。

注5 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。

「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」→ 数学①
 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」→ 数学②
 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」→ 理科①
 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」→ 理科②

4 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

日程	学科等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期	
前 期 日 程	全 学 科 共 通	調査書	学習成績、特別活動の記録等の記載内容に基づき総合的に評価する。		
	産業マネジメント学科	総合問題	図表及び英語で記述された文章などの資料に対して日本語で記述・論述することで、経済・経営・社会・グローバル化の課題に対する「知識」「思考・判断」「興味・関心・意欲」「技能・表現」について総合的に評価する。	平成30年3月7日(水) 午前10時	
	産業イノベーション学科	面接	これまでの活動（部活動、ボランティア活動、生徒会、学校行事、課題研究、資格取得、留学など）、志望理由、学習意欲、目的意識などの質問に対する応答及び面接時の態度から、本学科において学ぶために必要な「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。特に、水産業、紙産業又はものづくりへの関心や意欲について評価する。		
	環境デザイン学科	外国語	「英語」の出題範囲は、コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲであるので、その範囲内での総合的基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 基礎学力とは、幅広い英語読解力と豊かな英語表現力を言う。従って、本学科の英語試験は、センター試験ではカバーできない、総合的な読解力と表現力の達成度を採点・評価基準とする。	平成30年3月7日(水) 午前10時	
		面接	これまでの活動（部活動、ボランティア活動、生徒会、学校行事、課題研究、資格取得、留学など）、志望理由、学習意欲、目的意識、自然環境や社会環境に対する関心や課題意識などの質問に対する応答及び面接時の態度から、本学科において学ぶために必要な「知識」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。		
	地域資源 マネジメント 学 科	農山漁村 マネジメント コ ー ス	面接	これまでの活動（部活動、ボランティア活動、生徒会、学校行事、課題研究、資格取得、留学など）、志望理由、学習意欲、目的意識、農山漁村及び農林漁業の現状と将来性に関連する質問に対する応答及び面接時の態度から、本コースにおいて学ぶために必要な「知識」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。	
			グループ ディスカ ッション	農山漁村や農林漁業に関する課題を提示し、その課題についての論点整理作業、議論、議論中の態度から、本コースにおいて学ぶために必要な「知識」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。	
		文化資源 マネジメント コ ー ス	面接	これまでの活動（部活動、ボランティア活動、生徒会、学校行事、課題研究、資格取得、留学など）、志望理由、学習意欲、目的意識、地域文化（例えば、景観、遺産、芸能、食など）に関連する質問に対する応答及び面接時の態度から、本コースにおいて学ぶために必要な「知識」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。	
			グループ ディスカ ッション	地域文化に関する指定した課題を提示し、その課題についての議論や議論中の態度から、本コースにおいて学ぶために必要な「知識」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。	
			体育実技	体育実技では、「基礎的運動能力」を文部科学省の新体力テストの複数の項目を用いて測定し、評価する。	
スポーツ健康 マネジメント コ ー ス	面接	これまでの活動（部活動、ボランティア活動、生徒会、学校行事、課題研究、資格取得、留学など）、志望理由、学習意欲、目的意識、地域におけるスポーツ・健康づくりとスポーツによる地域活性化に関する考え、将来の進路に関連する質問に対する応答及び面接時の態度から、本コースにおいて学ぶために必要な「知識」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」及び話し方などの「技能・表現」について総合的に評価する。			

5 合否判定基準

〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

日程	事 項	合 否 判 定 基 準		
		総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同 点 者 の 順 位 決 定 基 準
日程	学 科 等			
前期日程	全 学 科	○		同点者は、同順位とする。

理学部

1 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

日程	学科等	受験を要する教科・科目等 教科・科目の採用方法			本人 確認欄			
前期 日程	数学受験コース 物理受験コース 化学受験コース 生物受験コース 地学受験コース	5教科 7科目	国語	「国語」	必須			
			地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択			
			公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」				
			数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須			
				「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注2参照)	1科目選択			
			理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から2	D	2科目選択	
			外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注3参照)	1科目選択			
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 (注1参照)								
後期 日程	数学科 物理学科 化学科 生物学科 地球科学科	5教科 7科目	国語	「国語」	必須			
			地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択			
			公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」				
			数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須			
				「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注2参照)	1科目選択			
			理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から2	D	2科目選択	
			外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注3参照)	1科目選択			
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 (注1参照)								

注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。

注2 大学入試センター試験の「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業(見込み)者以外の者に限ります。

注3 大学入試センター試験の「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

大学入試センター試験の理科の選択方法については, 次のように表記しています。

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目を選択→A

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択→B

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目及び「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択→C

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目を選択→D

2 個別学力検査等の教科・科目等

日程	学 科 等	教 科	科 目 等	試験時間
前 期 日 程	数 学 受 験 コ ー ス	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (注1参照)	120分
	物 理 受 験 コ ー ス	理 科	物理基礎・物理 (注2参照)	100分
	化 学 受 験 コ ー ス	理 科	化学基礎・化学 (注3参照)	100分
	生 物 受 験 コ ー ス	理 科	生物基礎・生物 (注4参照)	100分
	地 学 受 験 コ ー ス	理 科	地学基礎・地学 (注5参照)	100分
後 期 日 程	数 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B (注1参照)	120分
	物 理 学 科			
	化 学 科	面 接 (口頭試問を含む。)		
	生 物 学 科	小 論 文	100分	
	地 球 科 学 科	小 論 文	100分	

- 注1 数学のうち、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。
数学Bについては、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- 注2 理科の「物理基礎」、「物理」は、全範囲から出題します。
- 注3 理科の「化学基礎」、「化学」は、全範囲から出題します。
- 注4 理科の「生物基礎」、「生物」は、全範囲から出題します。
- 注5 理科の「地学基礎」、「地学」は、全範囲から出題します。

3 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

日程	大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点													
前 期 日 程	試験 教科等 受験コース	大学入試センター試験								個別学力検査等				
		国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	計	数学	理科	計	
				①	②	①	②							
	数 学 受 験 コ ー ス	100	(50)	(50)	75	75	-	200	200	700	300	-	300	
	物 理 受 験 コ ー ス	100	(50)	(50)	100	100	-	150	200	700	-	300	300	
	化 学 受 験 コ ー ス	100	(50)	(50)	100	100	-	150	200	700	-	300	300	
生 物 受 験 コ ー ス	100	(50)	(50)	100	100	-	150	200	700	-	300	300		
地 学 受 験 コ ー ス	100	(50)	(50)	100	100	-	150	200	700	-	300	300		
後 期 日 程	試験 教科等 学 科	大学入試センター試験								個別学力検査等				
		国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	計	数学	小論文	面接	計
				①	②	①	②							
	数 学 科	100	(50)	(50)	150	150	-	100	150	700	300	-	-	300
	物 理 学 科	100	(50)	(50)	100	100	-	200	150	700	300	-	-	300
	化 学 科	100	(50)	(50)	100	100	-	300	200	850	-	-	150	150
生 物 学 科	100	(50)	(50)	100	100	-	300	200	850	-	150	-	150	
地 球 科 学 科	100	(50)	(50)	100	100	-	300	200	850	-	150	-	150	

- 注1 ()は、選択科目の配点を示します。
- 注2 大学入試センター試験の「英語」の配点は、下記のとおりとします。

英語の配点	筆記	リスニング	計	リスニングを 免除された者
150点としている場合	120点	30点	150点	筆記を150点とする。
200点としている場合	160点	40点	200点	筆記を200点とする。

- 注3 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。
「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」→ 数学①
「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」→ 数学②
「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」→ 理科①
「物理」、「化学」、「生物」、「地学」→ 理科②

理学部

4 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

日程	学科等	教科等	採点・評価基準(一般的基準)	正解・解答例又は出題意図の開示時期
前期日程	全コース共通	調査書	学習成績，特別活動の記録等の記載内容に基づき総合的に評価する。	平成30年3月7日(水) 午前10時
	数学受験コース	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ及び数学A・数学Bの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し，応用することができるかを問うとともに，広く数学についての理解力，論理的思考力，計算力，記述力を総合的に評価する。	
	物理受験コース	物理	物理基礎・物理の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 自然現象，実験や観測などにおける物理現象，物理法則の理解度を問う出題を通じて，物理学に対する理解力，論理的思考力，推理力，記述力を総合的に評価する。	
	化学受験コース	化学	化学基礎・化学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 観察や実験に基づいて化学的な諸現象を理解する力，化学の基礎的な諸法則の理解度及び諸法則を基に正しい結論を導く力を問うとともに，化学に対する論理的思考力，推理力，記述力を総合的に評価する。	
	生物受験コース	生物	生物基礎・生物の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 生物や生物現象の特徴は，多くの要因が関与していて複雑であり，しかも，それらが有機的関連を持っていることである。このような生物の仕組みや働きについての基本的概念や原理・法則が理解できているかを問うとともに，それらを分析的並びに総合的に考察する能力が養われているかを評価する。	
	地学受験コース	地学	地学基礎・地学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 地学全般にわたる基礎知識，地球環境や身近な自然に対する観察力，自然現象から本質的な情報を取り出し考察する能力等を重要視するとともに，理解力，論理的思考力，推理力，記述力を総合的に評価する。	
後期日程	全学科共通	調査書	学習成績，特別活動の記録等の記載内容に基づき総合的に評価する。	平成30年3月22日(木) 午前10時
	数学科	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ及び数学A・数学Bの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し，応用することができるかを問うとともに，広く数学についての理解力，論理的思考力，計算力，記述力を総合的に評価する。	
	物理学科		目的意識，勉学意欲，基礎的知識，理解力，表現力などについて総合的に評価する。	
	化学科	面接	目的意識，勉学意欲，基礎的知識，理解力，表現力などについて総合的に評価する。	
	生物学科	小論文	考察力，論理的思考力，理解力，記述力などについて総合的に評価する。	
地球科学科	考察力，論理的思考力，理解力，記述力などについて総合的に評価する。			

5 合否判定基準〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

日程	学科等	合 否 判 定 基 準		
		総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが，ある科目の成績が水準以下の場合，総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同点者の順位決定基準
前期日程・後期日程	全学科・コース	○		同点者は，同順位とする。

医学部

1 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

日程	学 科	受 験 を 要 す る 教 科 ・ 科 目 等 教 科 ・ 科 目 の 採 用 方 法				本 人 確 認 欄	
前 期 日 程	医 学 科	5教科 7科目	国 語	「国語」	必須		
			地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」	1科目選択		
			公 民	「倫理, 政治・経済」			
			数 学	「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」	1科目選択		
				「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注2参照)	1科目選択		
			理 科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から2	D	2科目選択
	外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注3参照)	1科目選択				
	◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 なお、「地理歴史, 公民」の第1解答科目が指定された科目でない場合は、個別学力検査等を受験することができない。 (注1参照)						
	看 護 学 科	5教科 5科目 (*1)	国 語	「国語」	必須		
			地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択		
			公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」			
			数 学	「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注2参照)	1科目選択		
理 科				「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	A	A
			「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1	B	又はB	(*1)
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注3参照)	1科目選択					
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 「数学」において2科目を受験している場合は、高得点1科目を採用する。 「理科」において、基礎を付した科目と基礎を付していない科目両方を受験している場合は、高得点の科目を採用する>(*2) 「理科」において、基礎を付していない科目を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 (注1参照)							
後 期 日 程	医 学 科	5教科 7科目	国 語	「国語」	必須		
			地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」	1科目選択		
			公 民	「倫理, 政治・経済」			
			数 学	「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」	1科目選択		
				「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注2参照)	1科目選択		
			理 科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から2	D	2科目選択
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注3参照)	1科目選択					
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 なお、「地理歴史, 公民」の第1解答科目が指定された科目でない場合は、個別学力検査等を受験することができない。 (注1参照)							

(*1) 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

(*2) 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目の合計の得点とします。

注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

注2 大学入試センター試験の「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業（見込み）者以外の者に限ります。

注3 大学入試センター試験の「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

大学入試センター試験の理科の選択方法については、次のように表記しています。

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目を選択→A

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択→B

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目及び「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択→C

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目を選択→D

医学部

2 個別学力検査等の教科・科目等

日程	学 科	教 科	科 目 等	試験時間	備 考
前期日程	医 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (注1参照)	120分	
		理 科	物理基礎・物理, 化学基礎・化学 (注2, 注3参照)	100分	
		外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ	120分	
	面 接				
	看 護 学 科	小 論 文		60分	
		面 接			
グループディスカッション					
後期日程	医 学 科	小 論 文		120分	英文で出題し、解答は和文での記述となります。
		面 接			

注1 数学のうち、数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学Aは全範囲から出題します。

数学Bについては、「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。

注2 理科の「物理基礎」, 「物理」は、全範囲から出題します。

注3 理科の「化学基礎」, 「化学」は、全範囲から出題します。

3 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

日程	大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点																		
前期日程	学 科	試験 教科等	大学入試センター試験							個別学力検査等									
			国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国 語	計	数 学	理 科	外 国 語	小 論 文	面 接	デ ィ ス カ シ ョ ン	グ ル ー プ	計
						①	②	①	②										
						200	(50)	(50)	50										
看 護 学 科	200	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	700	-	-	-	100	200	300				
後期日程	学 科	試験 教科等	大学入試センター試験							個別学力検査等									
			国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国 語	計	小論文	面接	計					
						①	②	①	②										
						200	(100)	(100)	100						100	-	200	200	900

注1 () は、選択科目の配点を示します。

注2 看護学科の「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなし、2科目の合計の得点とします。

注3 看護学科の面接・グループディスカッションの配点は合計の得点とします。

注4 大学入試センター試験の「英語」の配点は、下記のとおりとします。

英語の配点	筆記	リスニング	計	リスニングを 免除された者
100点としている場合	90点	10点	100点	筆記を100点とする。
200点としている場合	180点	20点	200点	筆記を200点とする。

注5 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。

「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」 → 数学①

「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 → 数学②

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 → 理科①

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 → 理科②

4 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

日程	学 科	教科等	採 点 ・ 評 価 基 準 (一 般 的 基 準)	正解・解答例又は出題意図の開示時期
前 期 日 程	全 学 科 共 通	調査書	学習成績、特別活動の記録等の記載内容に基づき総合的に評価する。	平成30年3月7日(水) 午前10時
	医 学 科	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ及び数学A・数学Bの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し、応用することができるかを問うとともに、広く数学についての理解力、論理的思考力、計算力、記述力を総合的に評価する。	
		物理	物理基礎・物理の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 自然現象、実験や観測などにおける物理現象、物理法則の理解度を問う出題を通じて、物理学に対する理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。	
		化学	化学基礎・化学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 観察や実験に基づいて化学的な諸現象を理解する力、化学の基礎的な諸法則の理解度及び諸法則を基に正しい結論を導く力を問うとともに、化学に対する論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。	
		外国語	「英語」の出題範囲は、コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰであるので、その範囲内での総合的基礎学力の達成度を採点・評価する。	
		面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して、医学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲、自己認識、協調性、社会性などを総合的に判断して採点・評価する。	
	看 護 学 科	小論文	文章の理解力と、文章の内容をもとにして自分の考えをまとめ表現する能力などを総合的に採点・評価する。	平成30年3月7日(水) 午前10時
		面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して、看護学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲、自己認識、協調性、社会性などを総合的に判断して採点・評価する。	
		グループディスカッション	議論や議論中の態度から、個人面接の評価項目に加え、対人関係能力、状況判断能力などを総合的に判断して採点・評価する。	
	後 期 日 程	医 学 科	調査書	学習成績、特別活動の記録等の記載内容に基づき総合的に評価する。
		小論文	論文・文章の内容を的確に把握した上で、論述、解答させることにより、読解力、論述力、記述力を評価する。内容面では、医療の社会性に対する認識、科学論文に対する理解力、推理力などを評価する。	
		面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して、医学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲、自己認識、協調性、社会性などを総合的に判断して採点・評価する。	

5 合否判定基準

[○印が当該事項に該当することを示す。]

日程	事 項 学 科	合 否 判 定 基 準		
		総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同 点 者 の 順 位 決 定 基 準
前 期 日 程	医 学 科		○注1	①同点者は、面接の得点により順位を付ける。 ②面接の得点が同点の場合は、個別学力検査の得点により順位を付ける。 ③個別学力検査の得点が同点の場合は、調査書の「全体の評定平均値」が高い順とする。 ④調査書の「全体の評定平均値」が同じ場合、あるいは調査書が発行されないことにより、③で順位が付けられない場合は、大学入試センター試験の「外国語」の得点により順位を付ける。
	看 護 学 科		○注2	①同点者は、面接・グループディスカッションの得点により順位を付ける。 ②面接・グループディスカッションの得点が同点の場合は、調査書の「全体の評定平均値」が高い順とする。 ただし、調査書が発行されないことにより、②で順位が付けられない場合は、同順位とする。
後 期 日 程	医 学 科		○注1	①同点者は、面接の得点により順位を付ける。 ②面接の得点が同点の場合は、小論文の得点により順位を付ける。 ③小論文の得点が同点の場合は、調査書の「全体の評定平均値」が高い順とする。 ④調査書の「全体の評定平均値」が同じ場合、あるいは調査書が発行されないことにより、③で順位が付けられない場合は、大学入試センター試験の「数学及び理科」の合計得点により順位を付ける。

注1 面接の結果、不適格と判定した場合は、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とする。

注2 面接・グループディスカッションの評価が著しく低い場合は、総合点の順位にかかわらず合否を検討することがある。

工学部

1 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

日程	学科等	受験を要する教科・科目等 教科・科目の採用方法				本人 確認欄		
前期 日程	機械工学科 機能材料工学科 応用化学科 情報工学科 (注4参照)	5教科 7科目 (*1)	国語	「国語」	必須			
			地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択			
			公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	1科目選択			
			数学	「数学I」, 「数学I・数学A」	1科目選択			
				「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1科目選択			
			理科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	C 又はD	2科目選択 (*1)	
				「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1			
	外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注5参照)	から2	D	1科目選択			
	◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において, 同一名称を含む科目の選択は認めない。 (注1, 注2参照)							
	電気電子工学科 (注4参照)	5教科 7科目 (*1)	国語	「国語」	必須			
			地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択			
			公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	1科目選択			
数学			「数学I」, 「数学I・数学A」	1科目選択				
			「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1科目選択				
理科			「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	C 又はD	2科目選択 (*1)		
			「物理」	1				
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注5参照)	2	D	1科目選択				
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 (注1参照)								
環境建設工学科 土木工学コース (注4参照)	5教科 7科目 (*1)	国語	「国語」	必須				
		地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択				
		公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	1科目選択				
		数学	「数学I」, 「数学I・数学A」	1科目選択				
			「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1科目選択				
		理科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	C 又はD	2科目選択 (*1)		
			「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1				
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注5参照)	から2	D	1科目選択				
※ただし, 理科は「物理」又は「物理基礎」を含めること ◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において, 同一名称を含む科目の選択は認めない。 (注1, 注2参照)								
環境建設工学科 社会デザインコース	5教科 6科目 (*1)	国語	「国語」	必須				
		地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択				
		公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	1科目選択				
		数学	「数学I」, 「数学I・数学A」	1科目選択				
			「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1科目選択				
		理科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	A	A 又はB	1科目選択 (*1)	
			「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1	B			
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注5参照)	1科目選択						
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 「理科」において, 基礎を付した科目と基礎を付していない科目両方を受験している場合は, 高得点の科目を採用する。(*2) 「理科」において, 基礎を付していない科目を2科目受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 (注1参照)								

日程	学科等	受験を要する教科・科目等 教科・科目の採用方法				本人 確認欄		
後 期 日 程	機 械 工 学 科 環 境 建 設 工 学 科 土 木 工 学 コース	5教科 7科目 (*1)	国 語	「国語」	必須			
			地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択			
			公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」				
			数 学	「数学I」, 「数学I・数学A」	1科目選択			
				「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1科目選択			
			理 科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	C	C又は D	2科目選択 (*1)
				「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1			
	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から2		D				
	※ただし、理科は「物理」又は「物理基礎」を含めること							
	外 国 語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注5参照)	1科目選択					
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において、同一名称を含む科目の選択は認めない。 (注1, 注2参照)								
電 気 電 子 工 学 科	5教科 7科目 (*1)	国 語	「国語」	必須				
		地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択				
		公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」					
		数 学	「数学I」, 「数学I・数学A」	1科目選択				
			「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1科目選択				
		理 科	「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	C	C又は D	2科目選択 (*1)	
			「物理」	1				
「物理」, 「化学」	2	D						
外 国 語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注5参照)	1科目選択						
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 (注1参照)								
環 境 建 設 工 学 科 社 会 デ ザ イ ン コース	5教科 6科目 (*1)	国 語	「国語」	必須				
		地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択				
		公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」					
		数 学	「数学I」, 「数学I・数学A」	1科目選択				
			「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1科目選択				
		理 科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	A	A又は B	1科目選択 (*1)	
			「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1	B			
外 国 語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注5参照)	1科目選択						
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 「理科」において、基礎を付した科目と基礎を付していない科目両方を受験している場合は、高得点の科目を採用する。(*2) 「理科」において、基礎を付していない科目を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 (注1参照)								

日程	学科等	受験を要する教科・科目等 教科・科目の採用方法				本人 確認欄		
後 期 日 程	機能材料工学科 情報工学科	5教科 7科目 (*1)	国語	「国語」	必須			
			地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択			
			公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」				
			数学	「数学I」, 「数学I・数学A」	1科目選択			
				「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1科目選択			
			理科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	C	C又は D	2科目選択 (*1)
				「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1			
	外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注5参照)	1科目選択					
		◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において, 同一名称を含む科目の選択は認めない。 (注1, 注2参照)						
	応用化学科	5教科 7科目 (*1)	国語	「国語」	必須			
			地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択			
			公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」				
			数学	「数学I」, 「数学I・数学A」	1科目選択			
				「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1科目選択			
理科			「物理基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	C	C又は D	2科目選択 (*1)	
			「化学」	1				
	「物理」, 「生物」, 「地学」	から1						
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注5参照)	1科目選択						
	◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 (注1参照)							

(*1) 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。
(*2) 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目の合計の得点とします。

- 注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。
注2 ◇「理科」における同一名称を含む科目とは, 「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」をいいます。
注3 大学入試センター試験の「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業(見込み)者以外の者に限ります。
注4 第2志望学科を付して出願する者は, 第2志望学科が指定する大学入試センター試験の利用教科・科目を受験していることが必要です。
注5 大学入試センター試験の「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

大学入試センター試験の理科の選択方法については, 次のように表記しています。
「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目を選択→A
「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択→B
「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目及び「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択→C
「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目を選択→D

工学部

2 個別学力検査等の教科・科目等

日程	学 科 等	教 科	科 目 等	試験時間
前期 日程	機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (注1参照)	120分
		理 科	物理基礎・物理 (注2参照)	100分
	環 境 建 設 工 学 科 土 木 工 学 コ ー ス	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (注1参照)	120分
		理 科	物理基礎・物理，化学基礎・化学から1科目選択 (注2，注3，注4参照)	100分
	環 境 建 設 工 学 科 社 会 デ ザ イ ン コ ー ス	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B (注5参照)	100分
		外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ	100分
機 能 材 料 工 学 科 応 用 化 学 科 情 報 工 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (注1参照)	120分	
	理 科	物理基礎・物理，化学基礎・化学から1科目選択 (注2，注3，注4参照)	100分	
後期 日程	機 械 工 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (注1参照)	120分
	電 気 電 子 工 学 科			
	環 境 建 設 工 学 科 土 木 工 学 コ ー ス			
	環 境 建 設 工 学 科 社 会 デ ザ イ ン コ ー ス	小 論 文		90分
	機 能 材 料 工 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (注1参照)	120分
	応 用 化 学 科			
情 報 工 学 科				

注1 数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Aは全範囲から出題します。数学Bは、「数列」，「ベクトル」を出題範囲とします。

注2 理科の「物理基礎」，「物理」は，全範囲から出題します。

注3 理科の「化学基礎」，「化学」は，全範囲から出題します。

注4 **第1志望が環境建設工学科土木工学コース，機能材料工学科，応用化学科，情報工学科の受験者で，機械工学科，電気電子工学科を第2志望とする場合は，「物理基礎・物理」を受験してください。**

注5 数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Aは全範囲から出題します。数学Bについては，「数列」，「ベクトル」を出題範囲とします。

(*) 理科の受験科目（物理基礎・物理，化学基礎・化学）間で顕著な平均点差が生じた場合には，得点の調整を行うことがあります。

3 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

日程	大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点													
前期日程	学 科 等	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個 別 学 力 検 査 等			
		国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	計	数 学	理 科	外 国 語	計
					①	②	①	②						
	機 械 工 学 科	100	(50)	(50)	75	75	(75)	(75) 又は (150)	150	600	200	200	-	400
	電 気 電 子 工 学 科	100	(50)	(50)	75	75	(75)	(75) 又は (150)	150	600	200	200	-	400
	環 境 建 設 工 学 科 土木工学コース	150	(100)	(100)	75	75	(75)	(75) 又は (150)	150	700	200	200	-	400
	環 境 建 設 工 学 科 社会デザインコース	150	(150)	(150)	75	75	(150)	(150)	150	750	200	-	200	400
	機 能 材 料 工 学 科	100	(50)	(50)	75	75	(75)	(75) 又は (150)	150	600	300	300	-	600
	応 用 化 学 科	100	(50)	(50)	75	75	(75)	(75) 又は (150)	150	600	200	200	-	400
	情 報 工 学 科	100	(50)	(50)	75	75	(75)	(75) 又は (150)	150	600	200	200	-	400

後期日程	学 科 等	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個 別 学 力 検 査 等		
		国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	計	数 学	小論文	計
					①	②	①	②					
	機 械 工 学 科	100	(50)	(50)	75	75	(75)	(75) 又は (150)	150	600	200	-	200
	電 気 電 子 工 学 科	100	(50)	(50)	100	100	(100)	(100) 又は (200)	200	750	250	-	250
	環 境 建 設 工 学 科 土木工学コース	200	(100)	(100)	125	125	(175)	(175) 又は (350)	200	1,100	300	-	300
	環 境 建 設 工 学 科 社会デザインコース	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	300	900	-	100	100
	機 能 材 料 工 学 科	100	(50)	(50)	75	75	(100)	(100) 又は (200)	200	700	150	-	150
	応 用 化 学 科	100	(50)	(50)	50	50	(200)	(200) 又は (400)	150	800	300	-	300
	情 報 工 学 科	100	(50)	(50)	50	50	(75)	(75) 又は (150)	200	600	400	-	400

注1 () は、選択科目の配点を示します。

注2 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなし、2科目の合計の得点とします。

注3 大学入試センター試験の「英語」の配点は、下記のとおりとします。

英語の配点	筆記	リスニング	計	リスニングを 免除された者
150点としている場合	120点	30点	150点	筆記を150点とする。
200点としている場合	160点	40点	200点	筆記を200点とする。
300点としている場合	240点	60点	300点	筆記を300点とする。

注4 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。

- 「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」 → 数学①
- 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 → 数学②
- 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 → 理科①
- 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 → 理科②

工学部

4 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

日程	学科等	教科等	採点・評価基準(一般的基準)	正解・解答例又は出題意図の開示時期
前期日程	全学科共通	調査書	学習成績、特別活動の記録等の記載内容に基づき総合的に評価する。	平成30年3月7日(水) 午前10時
		数学	環境建設工学科社会デザインコースは、数学Ⅰ・数学Ⅱ及び数学A・数学B、そのほかの学科・コースは数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ及び数学A・数学Bの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し、応用することができるかを問うとともに、広く数学についての理解力、論理的思考力、計算力、記述力を総合的に評価する。	
	機械工学科 電気電子工学科 環境建設工学科 土木工学コース 機能材料工学科 応用化学科 情報工学科	物理	物理基礎・物理の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 自然現象、実験や観測などにおける物理現象、物理法則の理解度を問う出題を通じて、物理学に対する理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。	
	環境建設工学科 土木工学コース 機能材料工学科 応用化学科 情報工学科	化学	化学基礎・化学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 観察や実験に基づいて化学的な諸現象を理解する力、化学の基礎的な諸法則の理解度及び諸法則を基に正しい結論を導く力を問うとともに、化学に対する論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。	
	環境建設工学科 社会デザインコース	外国語	「英語」の出題範囲は、コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲであるので、その範囲内での総合的基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 基礎学力とは、幅広い英語読解力と豊かな英語表現力を言う。従って、本学部の英語試験は、センター試験ではカバーできない、総合的な読解力と表現力の達成度を採点・評価基準とする。	
後期日程	全学科共通	調査書	学習成績、特別活動の記録等の記載内容に基づき総合的に評価する。	平成30年3月22日(木) 午前10時
	機械工学科 電気電子工学科 環境建設工学科 土木工学コース 機能材料工学科 応用化学科 情報工学科	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ及び数学A・数学Bの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し、応用することができるかを問うとともに、広く数学についての理解力、論理的思考力、計算力、記述力を総合的に評価する。	
	環境建設工学科 社会デザインコース	小論文	題意の理解力、考察力、論理的思考能力、記述力などについて総合的に評価する。	

5 合否判定基準

〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

日程	事 項 学 科 等	合 否 判 定 基 準		
		総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同点者及び第2志望の順位決定基準
前 期 日 程	機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 環 境 建 設 工 学 科 土 木 工 学 コース 機 能 材 料 工 学 科 応 用 化 学 科 情 報 工 学 科	○		<p>学科ごとに、第1志望とする者及び第2志望とする者の総合点を、その学科の配点に従い算出する。</p> <p>①同点者が、第1志望とする者と第2志望とする者であった場合は、第1志望とする者を上位とする。</p> <p>②①によっても同順位者がいる場合は、次の得点を比較し順位を付ける。</p> <p>1) 数学と理科(大学入試センター試験及び個別学力検査)の得点の和</p> <p>2) 1)が同点の場合は、外国語(大学入試センター試験)の得点</p> <p>3) 2)が同点の場合は、国語(大学入試センター試験)の得点</p> <p>③②によっても同順位者がいる場合は、同順位とする。</p> <p>注1 第2志望の総合点の算出には、その学科が指定する教科・科目を受験していることが必要である。</p> <p>注2 第1志望学科で合格となった場合は、第2志望学科では合格とならない。</p>
	環 境 建 設 工 学 科 社 会 デ ザ イ ン コース	○		同点者は、同順位とする。
後 期 日 程	機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 環 境 建 設 工 学 科 土 木 工 学 コース 機 能 材 料 工 学 科 応 用 化 学 科 情 報 工 学 科	○		<p>①総合点が同点の場合は、個別学力検査の数学の得点により順位を付ける。</p> <p>②個別学力検査の数学の得点が同点の場合は、同順位とする。</p>
	環 境 建 設 工 学 科 社 会 デ ザ イ ン コース	○		同点者は、同順位とする。

農学部

1 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

日程	学 科	受 験 を 要 す る 教 科 ・ 科 目 等 教 科 ・ 科 目 の 採 用 方 法				本 人 確 認 欄	
前 期 日 程	食 料 生 産 学 科 生 命 機 能 学 科 生 物 環 境 学 科	5教科 7科目 (*1)	国 語	「国語」	必須		
			地 理 歴 史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択		
			公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」			
			数 学	「数学I・数学A」	必須		
				「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1科目選択		
			理 科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	C C 又はD	2科目選択 (*1)
				「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1		
外 国 語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注4参照)	から2	D				
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において、同一名称を含む科目の選択は認めない。 (注1、注2参照)							
後 期 日 程	食 料 生 産 学 科 生 命 機 能 学 科 生 物 環 境 学 科	5教科 7科目 (*1)	国 語	「国語」	必須		
			地 理 歴 史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択		
			公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」			
			数 学	「数学I・数学A」	必須		
				「数学II」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注3参照)	1科目選択		
			理 科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」	から2	C C 又は D	2科目選択 (*1)
				「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から1		
外 国 語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注4参照)	から2	D				
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において、同一名称を含む科目の選択は認めない。 (注1、注2参照)							

(*1) 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

- 注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
 注2 ◇「理科」における同一名称を含む科目とは、「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」をいいます。
 注3 大学入試センター試験の「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業（見込み）者以外の者に限ります。
 注4 大学入試センター試験の「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

大学入試センター試験の理科の選択方法については、次のように表記しています。
 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目を選択→A
 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択→B
 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目及び「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択→C
 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目を選択→D

2 個別学力検査等の教科・科目等

日程	学 科	教 科	科 目 等	試験時間
前期日程	食 料 生 産 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B (注1参照)	100分
	生 命 機 能 学 科	理 科	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学から1科目選択 (注2～注5参照)	100分
	生 物 環 境 学 科			
後期日程	食 料 生 産 学 科	面 接	(口頭試問を含む。)	
	生 命 機 能 学 科			
	生 物 環 境 学 科			

注1 数学のうち、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aは全範囲から出題します。
数学Bについては、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

注2 理科の「物理基礎」、「物理」は、全範囲から出題します。

注3 理科の「化学基礎」、「化学」は、全範囲から出題します。

注4 理科の「生物基礎」、「生物」は、全範囲から出題します。

注5 理科の「地学基礎」、「地学」は、全範囲から出題します。

3 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点														
日程	学 科	試 験 教 科 等	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験								個 別 学 力 検 査 等			
			国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	計	数学	理科	計
						①	②	①	②					
前期日程	食 料 生 産 学 科	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100) 又は (200)	200	900	200	200	400	
	生 命 機 能 学 科	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100) 又は (200)	200	900	200	200	400	
	生 物 環 境 学 科	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100) 又は (200)	200	900	200	200	400	
後期日程	食 料 生 産 学 科	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100) 又は (200)	200	900	200	200	200	
	生 命 機 能 学 科	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100) 又は (200)	200	900	200	200	200	
	生 物 環 境 学 科	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100) 又は (200)	200	900	200	200	200	

注1 () は、選択科目の配点を示します。

注2 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなし、2科目の合計の得点とします。

注3 大学入試センター試験の「英語」の配点は、下記のとおりとします。

筆記	リスニング	計	リスニングを 免除された者
160点	40点	200点	筆記を200点とする。

注4 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。

「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」→ 数学①
 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」→ 数学②
 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」→ 理科①
 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」→ 理科②

4 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

日程	学 科	教科等	採 点 ・ 評 価 基 準 (一 般 的 基 準)	正解・解答例又は出題意図の開示時期
前 期 日 程	全 学 科 共 通	調査書	学習成績，特別活動の記録等の記載内容に基づき総合的に評価する。	平成30年3月7日(水) 午前10時
		数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ及び数学A・数学Bの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し，応用することができるかを問うとともに，広く数学についての理解力，論理的思考力，計算力，記述力を総合的に評価する。	
		物理	物理基礎・物理の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 自然現象，実験や観測などにおける物理現象，物理法則の理解度を問う出題を通じて，物理学に対する理解力，論理的思考力，推理力，記述力を総合的に評価する。	
		化学	化学基礎・化学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 観察や実験に基づいて化学的な諸現象を理解する力，化学の基礎的な諸法則の理解度及び諸法則を基に正しい結論を導く力を問うとともに，化学に対する論理的思考力，推理力，記述力を総合的に評価する。	
		生物	生物基礎・生物の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 生物や生物現象の特徴は，多くの要因が関与していて複雑であり，しかも，それらが有機的関連を持っていることである。このような生物の仕組みや働きについての基本的概念や原理・法則が理解できているかを問うとともに，それらを分析的並びに総合的に考察する能力が養われているかを評価する。	
後 期 日 程	全 学 科 共 通	調査書	学習成績，特別活動の記録等の記載内容に基づき総合的に評価する。	
		面接	食料生産，生命機能又は生物環境に関連する分野で関心をもっている問題への解決意欲，自己表現力及び一般的な基礎知識について評価する。	

5 合否判定基準

[○印が当該事項に該当することを示す。]

日程	事 項 学 科	合 否 判 定 基 準		
		総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同点者及び第2志望、第3志望の順位決定基準
前期日程	全 学 科	○		<p>学科ごとに、第1志望の受験者、第2志望の受験者、第3志望の受験者を合わせ、総合点の高い受験者から順位を付ける。</p> <p>①同順位者がいる場合は、次の得点を比較して順位を付ける。</p> <p>1) 数学と理科（大学入試センター試験及び個別学力検査）の得点の和 2) 1)が同点の場合は、外国語（大学入試センター試験）の得点</p> <p>②①によっても同順位者がいる場合は、同順位とする。</p> <p>注 第1志望学科で合格となった場合、当該受験者は、第2志望学科、第3志望学科では合格とならない。また、第2志望学科で合格となった場合、当該受験者は、第3志望学科では合格とならない。</p>
後期日程	全 学 科	○		<p>学科ごとに、第1志望の受験者、第2志望の受験者、第3志望の受験者を合わせ、総合点の高い受験者から順位を付ける</p> <p>①同順位者がいる場合は、次の得点を比較して順位を付ける。</p> <p>1) 数学と理科（大学入試センター試験）の得点の和 2) 1)が同点の場合は、外国語（大学入試センター試験）の得点</p> <p>②①によっても同順位者がいる場合は、同順位とする。</p> <p>注 第1志望学科で合格となった場合、当該受験者は、第2志望学科、第3志望学科では合格とならない。また、第2志望学科で合格となった場合、当該受験者は、第3志望学科では合格とならない。</p>

Ⅶ 個別学力検査等の実施日時及び試験場

1 日時等

日程	学部	学 科 ・ 課 程 等	個 別 学 力 検 査 等 の 日 時				
			2月25日(日)		2月26日(月)		
前 期 日 程	法 文 学 部	人文社会学科「昼間主コース」	外国語 9:00～10:40	国語 11:30～13:10			
		人文社会学科「夜間主コース」		国語 11:30～13:10			
	教 育 学 部	初 等 教 育 コ ー ス	幼年教育サブコース	理科 9:00～10:40	国語 数学 11:30～13:10		
			小 学 校 サ ブ コ ー ス	理科 9:00～10:40	国語 数学 11:30～13:10		
				実技検査(音楽実技) 9:00～13:10(注1)		小論文 14:00～ 15:30	
				実技検査(美術実技) 9:00～10:40			
		実技検査(体育実技) 9:00～13:00					
		学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	言 語 ・ 社 会 教 育 系	国語教育専攻	外国語 9:00～10:40	国語 11:30～13:10	
				社会科教育専攻			
				英語教育専攻			
		中 等 教 育 コ ー ス	自 然 科 学 系	数学教育専攻	理科 9:00～10:40	数学 11:30～13:10	
				理科教育専攻			
				技術教育専攻			
		芸 術 ・ 生 活 健 康 系	音楽教育専攻	実技検査(音楽実技) 9:00～13:10(注1)		小論文 14:00～ 15:30	
			美術教育専攻	実技検査(美術実技) 9:00～12:00			
			保健体育専攻	実技検査(体育実技) 9:00～13:00			
	家政教育専攻			国語 数学 11:30～13:10			
	特別支援教育教員養成課程			国語 数学 11:30～13:10			
	社 会 共 創 学 部	産業マネジメント学科		総合問題 9:00～10:30			
		産業イノベーション学科		面接 9:00～			
環境デザイン学科		外国語 9:00～10:40	面接 12:00～				
地 域 資 源 マ ネ ジ メ ン ト 科		農山漁村 マネジメントコース	面接 9:00～	グループディスカッション 面接終了後～			
		文化資源 マネジメントコース	面接 9:00～	グループディスカッション 面接終了後～			
	スポーツ健康 マネジメントコース	実技検査(体育実技) 9:00～	面接 実技検査終了後～				

日程	学部	学 科 ・ 課 程 等	個 別 学 力 検 査 等 の 日 時				
			2月25日(日)			2月26日(月)	
前 期 日 程	理 学 部	数 学 受 験 コ ー ス			数 学 11:30~13:30		
		物 理 受 験 コ ー ス	理 科 9:00~10:40				
		化 学 受 験 コ ー ス					
	生 物 受 験 コ ー ス						
	医 学 部	医 学 科	理科 9:00~10:40	数学 11:30~13:30	外国語 14:10~16:10	面接9:00~(注2)	
		看 護 学 科	小論文 10:00~11:00	面接・グループディスカッション 12:00~(注2)		面接・グループ ディスカッション 9:00~(注2)	
	工 学 部	機 械 工 学 科	理 科 9:00~10:40		数 学 11:30~13:30		
		電 気 電 子 工 学 科					
		環 境 建 設 工 学 科	土 木 工 学 コ ー ス	外 国 語 9:00~10:40			数 学 11:30~13:10
			社 会 デ ザ イン コ ー ス				
		機 能 材 料 工 学 科	理 科 9:00~10:40		数 学 11:30~13:30		
		応 用 化 学 科					
情 報 工 学 科							
農 学 部	食 料 生 産 学 科	理 科 9:00~10:40		数 学 11:30~13:10			
	生 命 機 能 学 科						
	生 物 環 境 学 科						

注1 教育学部学校教育教員養成課程の実技検査（音楽実技）は、志願者数によっては2月25日(日)及び26日(月)の両日にわたって実施することがあります。詳細については、受験票送付時にお知らせします。

注2 医学部医学科の面接及び看護学科の面接・グループディスカッションの日時の詳細については、受験票送付時にお知らせします。

日程	学部	学 科 ・ 課 程 等		個 別 学 力 検 査 等 の 日 時			
				3月12日(月)		3月13日(火)	
後 期 日 程	法 文 学 部	人文社会科学科「昼間主コース」		小論文 9:00~11:00			
		人文社会科学科「夜間主コース」					
	教 育 学 部	学校 教育 教員 養成 課程	初等 教育 コース	小学校サブコース			面接 9:00~
	理 学 部	数 学 科		数 学 9:00~11:00			
		物 理 学 科		面接 9:00~			
		化 学 科		小論文 9:00~10:40			
		生 物 学 科					
	医 学 部	地 球 科 学 科					
		医 学 科		小論文 9:00~11:00 (注1)	面接 13:00~ (注2)		面接 9:00~ (注2)
	工 学 部	機 械 工 学 科					
		電 気 電 子 工 学 科		数 学 9:00~11:00			
		環 境 建 設 工 学 科	土木工学コース				
社会デザインコース			小論文 9:00~10:30				
機 能 材 料 工 学 科							
応 用 化 学 科		数 学 9:00~11:00					
農 学 部	情 報 工 学 科						
	食 料 生 産 学 科						
	生 命 機 能 学 科		面接 9:00~				
生 物 環 境 学 科							

注1 医学部医学科の小論文は英文で出題し、和文で記述させます。

注2 医学部医学科の面接日時の詳細については、受験票送付時にお知らせします。

2 試験場

志願学部	試 験 場	所 在 地
法 文 学 部	共 通 講 義 棟 A	松山市文京町3番
教 育 学 部	教 育 学 部	松山市文京町3番
社 会 共 創 学 部	共 通 講 義 棟 B	松山市文京町3番
理 学 部	理 学 部	松山市文京町2番5号
医 学 部	医 学 部	東温市志津川
工 学 部	共通講義棟C・工学部本館・4号館	松山市文京町3番
農 学 部	農 学 部	松山市樽味3丁目5番7号

注1 試験場は予定であり、変更になる可能性があります。試験場については、受験票送付の際又は送付後に通知します。

注2 試験場への経路は、71ページを参照してください。

VIII 合格者発表

(1) 合格者発表の日時

〈前期日程〉 平成30年3月7日(水) 午前10時

〈後期日程〉 平成30年3月22日(木) 午前10時

(2) 合格者発表の方法

1) 合格者については、教育学生支援部掲示場に受験番号で発表します。

なお、医学部及び農学部については、当該学部掲示場にも発表します。

2) 合格通知書、入学手続関係書類及び入学案内を送付します。

3) 愛媛大学ホームページに合格者受験番号を掲載します。(午前10時30分頃)

ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記1)又は2)の合格者発表により確認してください。(https://www.ehime-u.ac.jp/)

注 電話等による合否結果の照会には一切応じません。

【合否電報等に注意】

例年、試験場周辺において本学職員を装うなどして、受験者に「合否連絡をする」、「緊急時に自宅に連絡する」などと言葉巧みに近寄り、受験番号・氏名・住所・電話番号などを記入させ、現金を要求する行為が発生しています。試験当日、本学職員が受験者に現金を要求することは一切ありませんので注意してください。

IX 入学手続

合格者は、入学手続期間内に必要書類を郵送（後期日程は郵送又は持参）により提出してください。詳細については、合格通知の際に送付する「入学案内」を参照してください。

(1) 入学手続期間

〈前期日程〉

○平成30年3月15日(木) 17時必着（原則として郵送のみ）

郵送する際に、3月15日(木)の17時までに必着することを最寄りの郵便局で確認し、「速達・簡易書留郵便」で送付してください。やむを得ず持参する場合は、3月14日(水)及び3月15日(木)の10時から17時までの間に限り、手続を行うことができます。その場合は、前もって下記入試課へ連絡してください。

〈後期日程〉

○郵送する場合 …… 平成30年3月27日(火) 17時必着

郵送する際に、3月27日(火)の17時までに必着することを最寄りの郵便局で確認し、「速達・簡易書留郵便」で送付してください。

○持参する場合 …… 平成30年3月26日(月)及び27日(火)の両日とも9時から17時まで

(2) 入学手続書類の送付先又は持参先

〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学教育学生支援部入試課
電話番号 089-927-9172, 9173 (8時30分から17時まで)

(3) 必要書類等

書 類 等	摘 要	備 考
宣 誓 書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの	合格通知書 とともに送付 します。
保 証 書	同上	
学 生 記 録	同上	
学 生 証 写 真 票	同上	
平成 30 年度 大学入試 センター 試験 受験票	大学入試センター発行のもの	入学手続完 了後に返還し ます。
平成30年度愛媛大学受験票	本学発行のもの	
入 学 資 格 証 明 書	卒業証明書又はこれに代わる証明書（卒業証書不可）	
住 民 票 の 写 し	市区町村長が発行したもの (日本国籍を有しない者のみ提出してください。)	
写 真 (白黒又はカラー)	縦4cm×横3cmのもの2枚(上半身, 無帽, 正面向きで 3か月以内に撮影したもの) 1枚は, 学生記録の写真欄に貼ってください。 1枚は, 学生証写真票に貼ってください。	
入 学 料, 授 業 料 及 び そ の 他 の 経 費	57ページ「XIII 初年度の諸経費等」を参照	

(4) 注意事項

- 1) 合格者は, 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合には, 入学辞退者として取り扱います。
- 2) 入学手続完了後は, これを取り消して他の国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。詳細は, 公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/nyushi>)を参照のこと)に入学手続をすることができません。
- 3) 「大学入試センター試験受験票」を紛失した場合は, 大学入試センターに再発行の申請を行い, 再発行された受験票を提出してください。再発行を受けた場合, 当初発行のものは無効となります。

申請方法は, 「大学入試センター試験受験案内」を参照してください。

X 受験上の注意

- 1 試験前日（前期日程は平成30年2月24日(土)、後期日程は3月11日(日)）の午前10時に、志願学部試験場の掲示場に、試験時間割、試験室、面接等について掲示します。あらかじめ必要事項を確かめておいてください。
なお、試験室の下見は認められません。
- 2 試験当日は、**試験開始30分前**には試験場に到着し、入室の合図（チャイム等）によって指定された試験室に入室してください。
- 3 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、試験時間の延長は行いません。
- 4 受験中は、「**愛媛大学受験票**」と「**大学入試センター試験受験票**」を必ず携帯してください。
受験票を紛失又は試験当日忘れた場合には、早めに試験場本部に行き、仮受験票の交付を受けてください。
- 5 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票（2枚）のほか、黒鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から中身だけ取り出したもの）、目薬です。これ以外の所持品を置いてはいけません。各自の机の横又は椅子の下に置いてください。
- 6 試験室内では、携帯電話等の電子機器類は電源を切りかばんにしまってください。試験時間中に、これらを身につけていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。
- 7 試験室内では、**英文字がプリント**されている上着等は着用しないでください。
- 8 解答用紙には受験番号を記入し、氏名は記入しないでください。
- 9 不正行為を行った場合は、当該試験の受験を無効とし、それ以後の受験も認めません。
- 10 試験場の掲示場には、連絡事項を掲示することがありますので、休憩時間中は掲示に注意してください。
- 11 試験日の**前日及び当日の自動車、バイク**での試験場構内への**乗り入れを禁止**します。
- 12 大学周辺の道路は駐車禁止ですので、できる限り公共交通機関を利用し、保護者等による送迎はご遠慮ください。
- 13 受験票を紛失したとき又は不明なことなどがあれば、志願学部の入試係（66ページ参照）に申し出て指示を受けてください。
- 14 「**愛媛大学受験票**」と「**大学入試センター試験受験票**」は、入学手続、追加合格及び入学試験個人成績等開示請求の場合も必要となりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

XI 障がい等を有する入学志願者の出願

障がい等を有する者で、受験上又は修学上配慮を必要とするものは、随時相談に応じますので、志願学部の入試係までご相談ください。ただし、重度の障がい等を有する場合は、できるだけ早い時期にご連絡をお願いします。(必要な場合は、本学において、当該志願者又は保護者若しくはその立場を代弁し得る出身学校関係者との面談等を行うことがあります。)

また、相談は志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

(注) 相談は障がい等を有する志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法や在り方を模索するためのもので、障がい等を有する方の受験や修学を制限するものではありません。

(1) 受験上等配慮申請書の提出方法及び提出期限

相談の結果、配慮が必要と判断された場合は、以下の書類を出願書類とあわせて提出してください。なお、出願の期限までに提出できなかった場合は、早急に志願学部の入試係までご連絡ください。

- ・受験上等配慮申請書 (<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/>よりダウンロード)
- ・身体障害者手帳の写し、又は医師の診断書(写しでも可)等で、障がい等の状況が確認できるもの
※診断書が発行されない場合はその旨を申し出てください。
- ・大学入試センターからの通知書の写し(大学入試センター試験の受験上の配慮の決定を受けた者)

(2) 受験上等配慮内容の決定

提出された書類により、受験上又は修学上の配慮内容を決定し、受験上等配慮申請者に通知します。

(3) 連絡及び提出先

志願学部の入試係(66ページの学部等照会先参照)

XII 欠員補充の方法

1 追加合格

入学手続完了者が入学定員に満たない場合には、追加して合格者を決定することがあります。

この場合、追加合格候補者に該当する受験者へ平成30年3月28日(水)～3月31日(土)の間(8時30分～17時)に、電話により、インターネット出願で登録した「志願者連絡先」に連絡して入学意思の確認を行いますので、本人が不在の場合でも連絡が直ちに取れるよう所在を明らかにしておいてください。

なお、追加合格者の入学手続等については、追加合格を決定した時点で指示します。

注1 追加合格の対象者は、いずれの国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。詳細は、公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/nyushi>)を参照のこと。以下同じ。)にも入学手続をしていない者です。国公立大学・学部に入学者選抜を完了した者が、これを取り消して本学に入学者選抜を行うことはできません。

注2 本学から連絡の際、追加合格候補者が不在等のため、本人との連絡・確認ができなかった場合は、入学の意思がないものとして取り扱うことがあります。

注3 追加合格候補者は発表しません。また、電話等による問い合わせには応じません。

注4 前期日程と後期日程の入学者の合計数が、一般入試全体の募集人員を満たしている場合は、どちらかの試験日程で欠員があっても追加合格を行わないことがあります。

2 欠員補充第2次募集

入学手続完了者が入学定員に満たない場合には、欠員補充第2次募集を行うことがあります。実施する場合は、平成30年3月28日(水)～4月1日(日)の間に欠員補充第2次募集要項を発表します。

なお、出願資格は、本募集要項7ページ「II 出願資格」の条件を満たし、かつ、次のいずれかに該当していなければなりません。

- (1) 平成30年3月24日(土)の時点で、いずれの国公立大学にも合格していない者(いずれの国公立大学にも出願していない者を含む。)
- (2) 平成30年3月24日(土)の時点で、国公立大学に合格していた者で、第2次募集出願時に、いずれの国公立大学にも入学手続をとっていないもの

ⅩⅢ 初年度の諸経費等

1 初年度の諸経費

初年度に必要な経費は、おおむね次のとおりです。

学 部	入 学 料	授 業 料	その他の経費	計
法 文 学 部 「昼間主コース」	282,000円	年 額 535,800円 〔前期分 267,900円 後期分 267,900円〕	71,660円	889,460円
教 育 学 部			64,660円	882,460円
社 会 共 創 学 部			44,660円	862,460円
理 学 部			64,660円	882,460円
医 学 部			152,800円 (84,370円)	970,600円 (902,170円)
工 学 部			64,660円	882,460円
農 学 部			70,660円	888,460円
法 文 学 部 「夜間主コース」	141,000円	年 額 267,900円 〔前期分 133,950円 後期分 133,950円〕	62,760円	471,660円

注1 入学料及び授業料の額は、平成29年度納付額であり、平成30年度は改定になる場合があります。

注2 その他の経費とは、学生教育研究災害傷害保険料及び校友会並びに後援会費等の合計金額（金額については、変更される場合があります。）です。

注3 医学部（ ）内は、看護学科の金額を示します。

2 納付金の納入

- (1) 入 学 料 **282,000円**（法文学部「夜間主コース」は、**141,000円**）
 納入期間 **各日程の入学手続締切日まで**
 なお、欠員補充第2次募集の場合は、合格者に納入期間等を通知します。
- (2) 授 業 料 前期分 **267,900円**〔年額 **535,800円**〕
 （法文学部「夜間主コース」は、**133,950円**〔年額 **267,900円**〕）
 納入期間については、合格通知の際にお知らせします。
※在学中に授業料の改定が行われた場合は、新授業料を適用します。
- (3) その他の経費
 納入期日等については、別途通知します。
 その他の経費には、教科書購入費は含まれていません。
- (4) 入学手続等の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

履修コース

1 法文学部の履修コースの決定

法文学部では、昼間主コースには「法学・政策学履修コース」「グローバル・スタディーズ履修コース」「人文学履修コース」の3つの履修コースを、夜間主コースには「法学・政策学履修コース」「人文学履修コース」の2つの履修コースを設けています。

1年次終了時点で、自分自身の興味関心及び将来像に従って履修コースを選択し、2年次前学期の終了時点で専攻する分野と指導教員を決定します。

履修コースの振り分けは、学生の希望と1年次の学業成績、その他各コースの定める要件によって行います。各コースの担当教員数に応じて以下のように目安となる定員を設定しますが、定員には余裕を持たせ、できるだけ学生の希望を反映する振り分けを行います。

	昼間主コース	夜間主コース
法学・政策学履修コース	115人	45人
グローバル・スタディーズ履修コース	60人	
人文学履修コース	100人	45人

それぞれの履修コースの特徴は、次のとおりです。

(1) 法学・政策学履修コース

社会科学の知識を基に、現代社会の問題を見極めて分析を行い、問題の解決へと導く能力を養います。法律学・政治学・経済学をとおして、公共政策及び企業活動に対する理解を深めて、実務において必要とされる基礎力を身につけていきます。法律学・政治学・経済学のいずれかを専門的に学ぶこともできます。

(2) グローバル・スタディーズ履修コース

グローバルに活動できる人間になるために、語学力・協働力・交渉力をバランスよく身につけます。そのために、外国語の習得に力を入れるのはもちろんのこと、人文社会系の知識を身につけ、海外での学びをとおして、実地にそれを活かす感覚を養います。国の内外を問わず、グローバルな視点に立つことが求められる場で活躍できます。

(3) 人文学履修コース

思想・心理・歴史・社会・文学・芸術・言語について専門的に学ぶことができます。人文系の学びにおいては、物事を冷静に見つめて粘り強く考え、人間の幸福にとって何が大事なのかを見極めることを重視します。人文系の学びをとおして、人間への洞察を深めて、社会にそれを活かすことができるようになります。

2 教育学部のコース等の決定

学校教育教員養成課程

学校教育教員養成課程は、初等教育コース（幼稚園・小学校）と中等教育コース（中学校・高等学校）を設けており、実践的なカリキュラムと相互に尊重し啓発しあう学びを保障することで、確かな教育実践力と豊かな人間性とを兼ね備えた学校教員を養成します。本課程のコース毎に入学者選抜試験が行われ、所属コースが決定されます。入学後は原則としてコース変更は認められません。

(1) 初等教育コース

初等教育コースは、「小学校サブコース」と「幼年教育サブコース」に分かれています。

いずれも小学校教諭一種免許状の取得を卒業要件としていますが、サブコース毎に入学者選抜試験が行われ、所属コースが決定されます。入学後は原則としてサブコース変更は認められません。

●幼年教育サブコース

幼年教育サブコースは、小学校教諭一種免許状の取得に加え、幼稚園教諭一種免許状の取得を卒業要件としています。そのほか、定められた単位を修得して保育士資格を取得することができます。

●小学校サブコース

小学校サブコースは、小学校教諭一種免許状の取得に加え、学生の希望に応じて、各教科の中学校教諭（一種あるいは二種）・高等学校教諭（一種）免許状、幼稚園教諭（一種あるいは二種）免許状の取得が可能です。各教科の中学校・高等学校教諭の免許状は、学生の希望に応じて1教科ないし2教科の取得が可能です。ただし、複数の免許状を取得する場合、単位数の上限により取得できない場合があります。

(2) 中等教育コース

中等教育コースは、主専攻の中学校教諭一種免許状の取得を卒業要件としています。学生の希望に応じて、主専攻以外の中学校教諭（一種あるいは二種）免許状、高等学校教諭（一種）免許状及び小学校教諭（一種あるいは二種）免許状の取得が可能です。ただし、複数の免許状を取得する場合、単位数の上限により取得できない場合があります。

特別支援教育教員養成課程

特別支援教育教員養成課程は、小学校教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状（聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱）の取得を卒業要件としています。4領域全ての免許状を取得した上で、多様な教育的配慮が必要な幼児児童生徒（言語障害、発達障害、重複障害等も含む。）に対応できる高い専門性を持った教員を養成します。

3 社会共創学部のコース配属

(1) 産業マネジメント学科

本学科では、「産業マネジメントコース」「事業創造コース」の2つのコースを設けています。

1年次終了時にコース希望調査を行い、配属を決定します。希望者数が極端に偏る場合は、希望どおりに配属されない場合があります。

(2) 産業イノベーション学科

本学科では、「海洋生産科学コース」「紙産業コース」「ものづくりコース」の3つのコースを設けています。1年次終了時にコース希望調査を行い、配属を決定します。希望者数が極端に偏る場合は、希望どおりに配属されない場合があります。

(3) 環境デザイン学科

本学科では、「環境サステナビリティコース」「地域デザイン・防災コース」の2つのコースを設けています。1年次終了時にコース希望調査を行い、配属を決定します。希望者数が極端に偏る場合は、希望どおりに配属されない場合があります。

(4) 地域資源マネジメント学科

本学科では、「農山漁村マネジメントコース」「文化資源マネジメントコース」「スポーツ健康マネジメントコース」の3つのコースを設けており、コース毎に入学者選抜試験を実施し所属コースが決定されます。

4 理学部前期日程入学者の学科への所属

1年次終了時（2月頃）に学科への所属の希望届を提出します。受験した受験コースに従って、下表の○印のついた学科を自由に選択でき、2年次から所属します。

学科	受験コース	数学受験コース	物理受験コース	化学受験コース	生物受験コース	地学受験コース
数 学 科		○	—	—	—	—
物 理 学 科		○	○	○	—	—
化 学 科		○	○	○	○	—
生 物 学 科		—	—	○	○	—
地 球 学 科		○	○	○	○	○

5 医学部看護学科の履修

保健師国家試験受験資格

医学部看護学科では、保健師教育課程に選択制を導入しています。

保健師資格の取得を希望する学生のうち、3年次前学期終了後に選考を受けて（編入生を含む35人程度）、所定の単位を修得した者が、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

6 工学部各学科の履修コース

工学部では、環境建設工学科、応用化学科、情報工学科がそれぞれ2つの履修コース（教育コース）を設けています。機械工学科、電気電子工学科、機能材料工学科は1つの履修コースです。

機械工学科

本学科では、数学と自然科学、力学とデザインなどの機械工学の基本的知識だけでなく、広い視野からの総合判断力と応用力、さらには自主的学習力、論理的思考力、記述・発表力などを学び、自然との調和、人間と機械の協調、資源・エネルギーの有効利用などの新たな視点をふまえて、人類の福祉や生活の利便性にとって有益な「もの」を創造し、操作・保全する技術者・研究者を目指す人を養成します。

電気電子工学科

本学科では、電気・電子・通信に関する幅広い授業科目を開講しています。学生自身が主体的に授業科目を選択することにより、電気エネルギー、電子物性デバイス、情報通信システムの分野を学修することができます。また、電気主任技術者、電気工事士、第一級陸上無線技術士、第一級陸上特殊無線技士、第二級海上特殊無線技士など、国家資格取得への道が開かれています。

環境建設工学科

本学科では、「土木工学コース」と「社会デザインコース」の2つのコースを設けており、各コース毎に入学者選抜試験を実施し所属コースが決定されます。入学後は原則としてコース変更はできません。

●土木工学コース

長大橋梁や海峡横断トンネルなど、世界の建設シーンにおいて活躍する人材、次世代の社会基盤・環境を創造する人材を育成するコースです。日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定コースでもあります。

●社会デザインコース

社会や経済に明るく、またデザインや景観のセンスを持つなど、文化的な素養を活かしながら、まちづくりや国土のマネジメントにリーダーシップを発揮できる人材を育成するコースです。

機能材料工学科

本学科では、物理・化学、数学を基礎に金属、セラミックス、高分子材料を学び、ナノテクノロジーや、環境・エネルギー関連材料等の先端材料への応用力を身につけることができます。

専門科目は、材料科学に関する学際的専門科目を履修し、将来、材料分野において研究開発に携わる技術者・研究者を目指します。

応用化学科

本学科では、入学後の2年半は応用化学の様々な分野に対応できる共通のカリキュラムに従って履修しますが、3年次後学期からは以下の2つのコースに分かれてさらに専門的な教育を受けます。

●創成化学コース

原子・分子レベルの化学の理解に基づいた最先端の化学技術を駆使して、環境に調和した高い機能を有する新しい材料・物質の創造を実現できる能力を身につけるための教育を行います。

●生命科学コース

タンパク質をはじめとする生体分子の機能や構造の探究から、先進的バイオテクノロジーの開発にいたるまで、あらゆる生命現象を化学の視点で理解するための教育を行います。

情報工学科

本学科では、教育目標の異なる2つのコース「専修コース」、「一般コース」を設置しています。2年次後学期以降、いずれかひとつのコースに属し、それぞれの学習・教育目標に沿った教育を受けることになります。

●専修コース

より専門性を深め応用力のある学生を育てることを目標としています。日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定対象コースです。

●一般コース

情報工学の基礎的な知識を広く身につけることを目標としています。

7 農学部のコースへの分属

農学部では、3つの学科にそれぞれ1～3つのコース（特別コースは除く）が設置されており、2年次前学期開始時に、所属している学科のいずれか1つのコースに分属します。

コースの内容については、「愛媛大学農学部案内」を参照してください。

(1) 学科及びコース

食料生産学科

農業生産学コース

植物工場システム学コース

食料生産経営学コース

生命機能学科

応用生命化学コース

生物環境学科

森林資源学コース

地域環境工学コース

環境保全学コース

(2) コースへの分属

1) 分属要件及び分属方法

1年次後学期までに分属要件を満たした（所定の単位を修得した）者について、本人の志望と入学後に修得した成績を基に分属を決定します。

2) コース分属の説明

コース分属については、入学後、ガイダンス等で詳しく説明します。

平成29年度 入学者選抜当初合格者の成績一覧

日程	学部	学科・課程等	募 集 員 数	当 初 合 格 者 数	大学入試センター試験				個 別 試 験				総 合 点				
					満 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点	満 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点	満 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点	
前 期	法文学部	人文社会科学科「昼間主コース」	180	206	750	627.90	461.30	527.23	500	370.75	215.00	288.51	1,250	985.90	764.90	815.74	
		人文社会科学科「夜間主コース」	40	62	750	514.00	405.00	453.96	250	179.00	102.00	138.40	1,000	644.70	538.60	592.36	
	教育学部	学校教育員養成課程	初等教育コース	6	6	900	開示しない			400	開示しない			1,300	開示しない		
			小学校サブコース	58	69	900	686.40	525.00	595.19	400	311.00	193.00	260.97	1,300	971.40	790.40	856.16
		中等教育	言語・社会教育系	国語教育専攻	14	6	900	開示しない			300	開示しない			1,200	開示しない	
				社会科教育専攻	5	5	900	開示しない			300	開示しない			1,200	開示しない	
				英語教育専攻	4	4	900	開示しない			300	開示しない			1,200	開示しない	
			自然科学系	数学教育専攻	13	5	800	開示しない			400	開示しない			1,200	開示しない	
				理科教育専攻	5	5	800	開示しない			400	開示しない			1,200	開示しない	
				技術教育専攻	3	3	800	開示しない			400	開示しない			1,200	開示しない	
		芸術・生活健康系	音楽教育専攻	13	4	900	開示しない			600	開示しない			1,500	開示しない		
			美術教育専攻	3	3	900	開示しない			600	開示しない			1,500	開示しない		
			保健体育専攻	4	4	900	開示しない			600	開示しない			1,500	開示しない		
				家政教育専攻	4	4	900	開示しない			300	開示しない			1,200	開示しない	
			特別支援教育教員養成課程	12	12	800	601.00	488.80	533.85	400	318.00	281.00	301.33	1,200	895.60	799.00	835.18
	社会共創学部	産業マネジメント学科	48	57	700	564.00	422.20	460.58	300	224.50	145.00	179.42	1,000	785.00	596.00	640.00	
		産業イノベーション学科	13	15	700	515.40	353.00	415.69	300	277.00	177.00	246.67	1,000	792.40	618.00	662.35	
		環境デザイン学科	25	27	700	550.00	447.60	487.87	300	229.00	161.00	204.04	1,000	775.00	667.60	691.90	
		地域資源マネジメント学科	農山漁村マネジメントコース	5	9	500	開示しない			500	開示しない			1,000	開示しない		
			文化資源マネジメントコース	8	8	700	開示しない			300	開示しない			1,000	開示しない		
スポーツ健康マネジメントコース			12	14	500	397.60	329.85	361.18	500	447.00	365.00	410.21	1,000	823.80	742.70	771.39	
理学部	数学受験コース	37	42	700	563.30	397.00	468.67	300	267.60	168.00	205.43	1,000	769.15	636.50	674.10		
	物理受験コース	35	40	700	543.35	418.90	469.41	300	267.00	186.00	230.29	1,000	775.65	657.10	699.70		
	化学受験コース	37	39	700	506.25	412.95	465.07	300	282.00	210.00	250.54	1,000	776.25	671.20	715.61		
	生物受験コース	27	30	700	505.20	432.55	461.31	300	271.50	199.50	240.60	1,000	740.70	681.95	701.91		
	地学受験コース	6	6	700	開示しない			300	開示しない			1,000	開示しない				
医学部	医 学 科	40	40	550	495.00	450.80	469.95	700	606.00	493.20	539.89	1,250	1,083.55	975.60	1,009.83		
	看 護 学 科	33	37	700	549.10	394.20	485.13	300	269.00	157.00	200.68	1,000	779.00	589.40	685.81		
工学部	機 械 工 学 科	60	65	600	445.40	353.50	392.15	400	323.80	182.40	244.26	1,000	727.15	592.15	636.41		
	電 気 電 子 工 学 科	52	60	600	443.90	333.90	381.44	400	297.20	187.00	237.85	1,000	720.75	570.30	619.29		
	環境建設工学科	土木工学コース	44	47	700	512.90	389.55	450.58	400	319.20	163.40	246.74	1,100	778.70	644.20	697.32	
		社会デザインコース	10	13	750	545.25	465.00	494.78	400	304.00	204.00	256.85	1,150	822.25	717.00	751.63	
	機 能 材 料 工 学 科	38	45	600	399.90	326.30	362.45	600	480.60	282.00	360.95	1,200	862.55	676.00	723.40		
	応 用 化 学 学 科	67	71	600	415.40	338.75	381.40	400	316.00	198.00	256.94	1,000	728.80	601.25	638.33		
	情 報 工 学 学 科	50	53	600	513.20	347.30	396.49	400	340.00	188.60	251.92	1,000	765.20	586.45	648.41		
農学部	食 料 生 産 学 科	37	44	900	671.40	544.60	592.55	400	323.00	206.00	260.82	1,300	979.40	810.00	853.37		
	生 命 機 能 学 科	27	32	900	690.20	557.00	606.27	400	350.00	216.00	274.53	1,300	983.20	844.00	880.80		
	生 物 環 境 学 科	27	32	900	644.60	522.80	581.79	400	298.00	193.00	257.81	1,300	937.60	789.00	839.60		

日程	学部	学科・課程等	募 集 員 数	当 初 合 格 者 数	大学入試センター試験				個 別 試 験				総 合 点				
					満 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点	満 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点	満 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点	
後 期	法文学部	人文社会科学科「昼間主コース」	50	67	500	444.00	368.00	401.35	200	186.67	103.33	134.08	700	577.33	511.87	535.43	
		人文社会科学科「夜間主コース」	20	28	500	379.00	322.60	356.10	200	160.00	113.33	128.33	700	501.67	470.73	484.43	
	教育学部	学校教育員養成課程	初等教育コース	10	10	900	676.40	521.80	611.46	200	171.00	125.00	142.80	1,100	819.40	681.00	754.26
			小学校サブコース														
	理学部	数 学 科	7	13	700	556.70	476.10	533.83	300	246.00	151.20	190.89	1,000	772.00	691.70	724.72	
		物 理 学 科	6	13	700	555.70	410.30	505.82	300	223.20	124.80	171.78	1,000	770.50	627.50	677.61	
		化 学 学 科	5	2	850	開示しない			150	開示しない			1,000	開示しない			
		生 物 学 科	6	10	850	743.40	471.00	600.87	150	122.25	59.25	98.93	1,000	864.15	569.25	699.80	
		地 球 科 学 学 科	8	15	850	686.50	486.30	586.59	150	133.00	59.00	83.53	1,000	782.50	573.90	670.13	
	医学部	医 学 科	25	25	900	836.10	775.40	805.28	300	259.00	178.00	231.36	1,200	1,091.10	1,006.60	1,036.64	
	工学部	機 械 工 学 学 科	17	23	600	463.70	364.70	423.39	200	144.80	72.00	96.07	800	587.70	459.90	519.46	
		電気電子工学科	土木工学コース	15	19	750	593.50	459.70	530.52	250	173.00	47.00	120.00	1,000	715.70	574.70	650.52
			社会デザインコース	10	18	1,100	864.75	716.15	786.26	300	234.00	110.40	153.87	1,400	1,020.45	878.15	940.12
		機 能 材 料 工 学 学 科	4	7	900	開示しない			100	開示しない			1,000	開示しない			
		機 能 材 料 工 学 学 科	22	29	700	531.10	390.10	466.77	150	112.80	35.40	64.80	850	608.50	446.35	531.57	
		応 用 化 学 学 科	16	24	800	616.40	355.80	493.56	300	212.40	61.20	122.55	1,100	813.60	479.00	616.11	
		情 報 工 学 学 科	21	27	600	476.05	351.75	428.40	400	292.80	134.40	215.23	1,000	735.10	568.75	643.63	
	農学部	食 料 生 産 学 科	7	7	900	開示しない			200	開示しない			1,100	開示しない			
		生 命 機 能 学 科	5	8	900	開示しない			200	開示しない			1,100	開示しない			
		生 物 環 境 学 科	6	9	900	開示しない			200	開示しない			1,100	開示しない			

注) 当初合格者が10人未満の場合は開示しないことになっています。

入学試験の照会方法

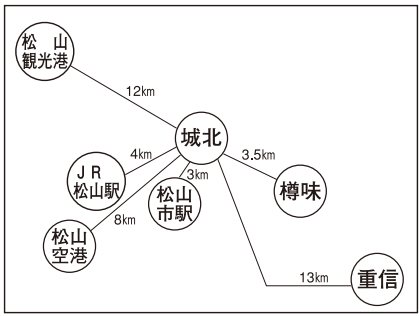
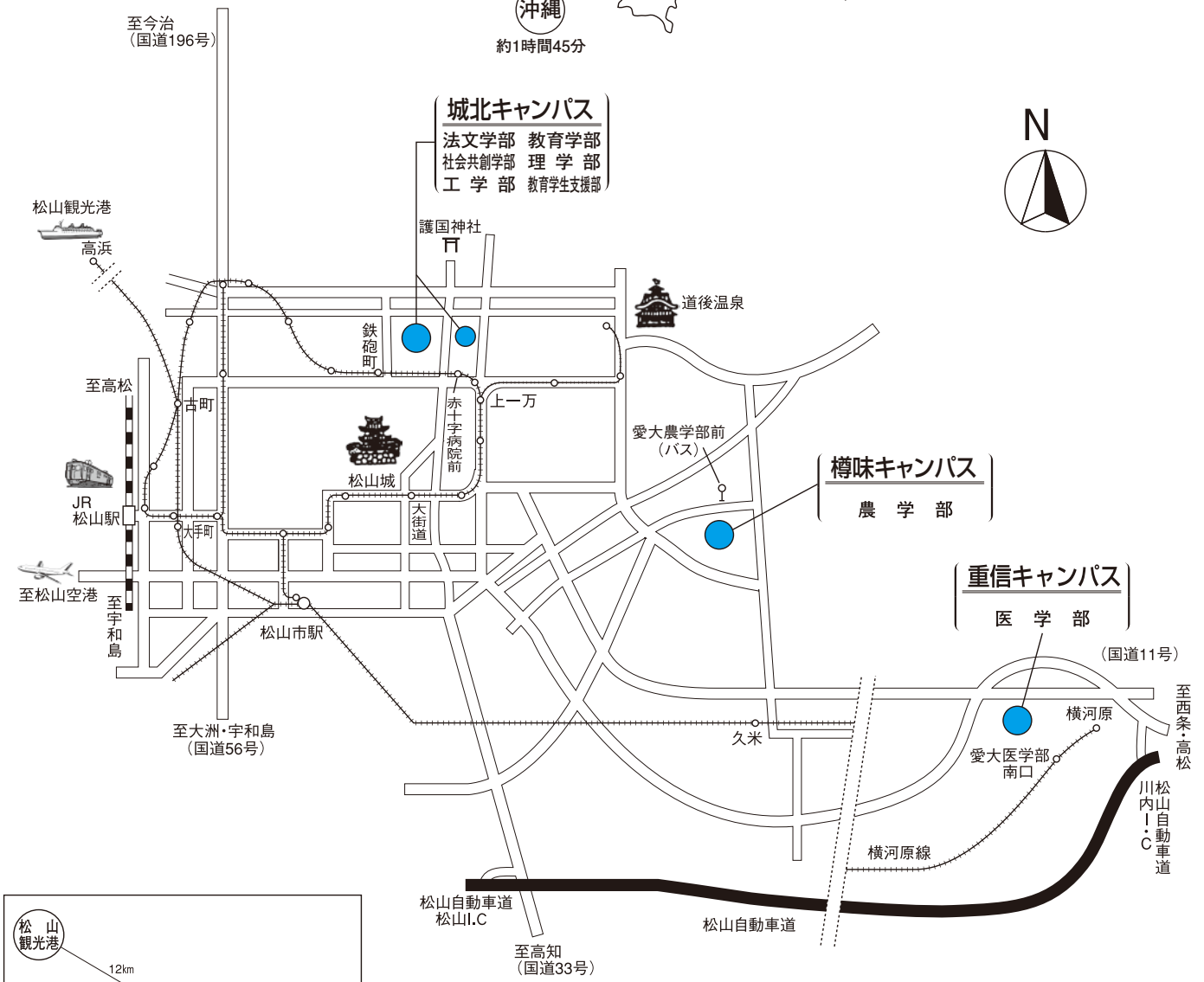
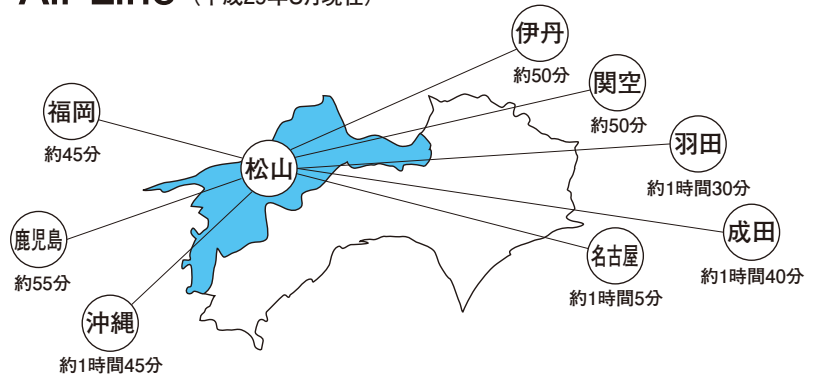
次の志願学部の入試係又は入試課へ照会してください。文書にて照会する場合は、82円分の切手を貼った定形の返信用封筒を同封してください。インターネット出願の操作方法・支払方法に関するお問合せは、四国国立5大学インターネット出願専用コールセンター（12ページ参照）へ連絡してください。

学部等	住所	電話番号
法文学部	愛媛大学法文学部入試係 〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9221
教育学部	愛媛大学教育学部入試係 〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9377
社会共創学部	愛媛大学社会共創学部入試係 〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9019
理学部	愛媛大学理学部入試係 〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9546
医学部	愛媛大学医学部入試係 〒791-0295 東温市志津川	089-960-5175
工学部	愛媛大学工学部入試係 〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9697
農学部	愛媛大学農学部入試係 〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号	089-946-9648
入試課	愛媛大学教育学生支援部入試課 〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9172, 9173

注意 入試に関する電話による照会（お問合せ）は、月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く。）の9時から17時の間とし、原則として志願者本人が行ってください。

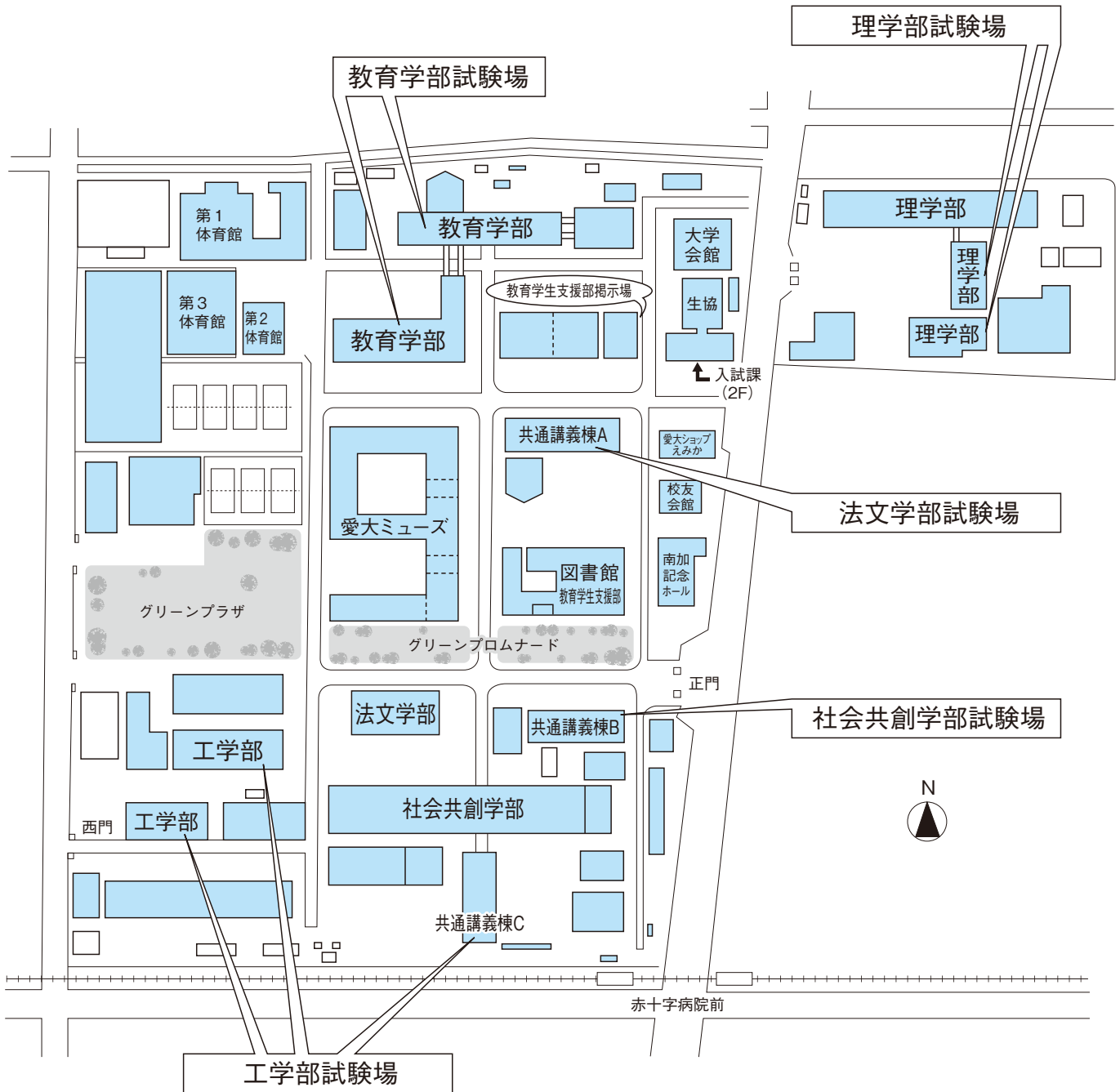
大学案内図

Air Line (平成29年6月現在)



城北キャンパス

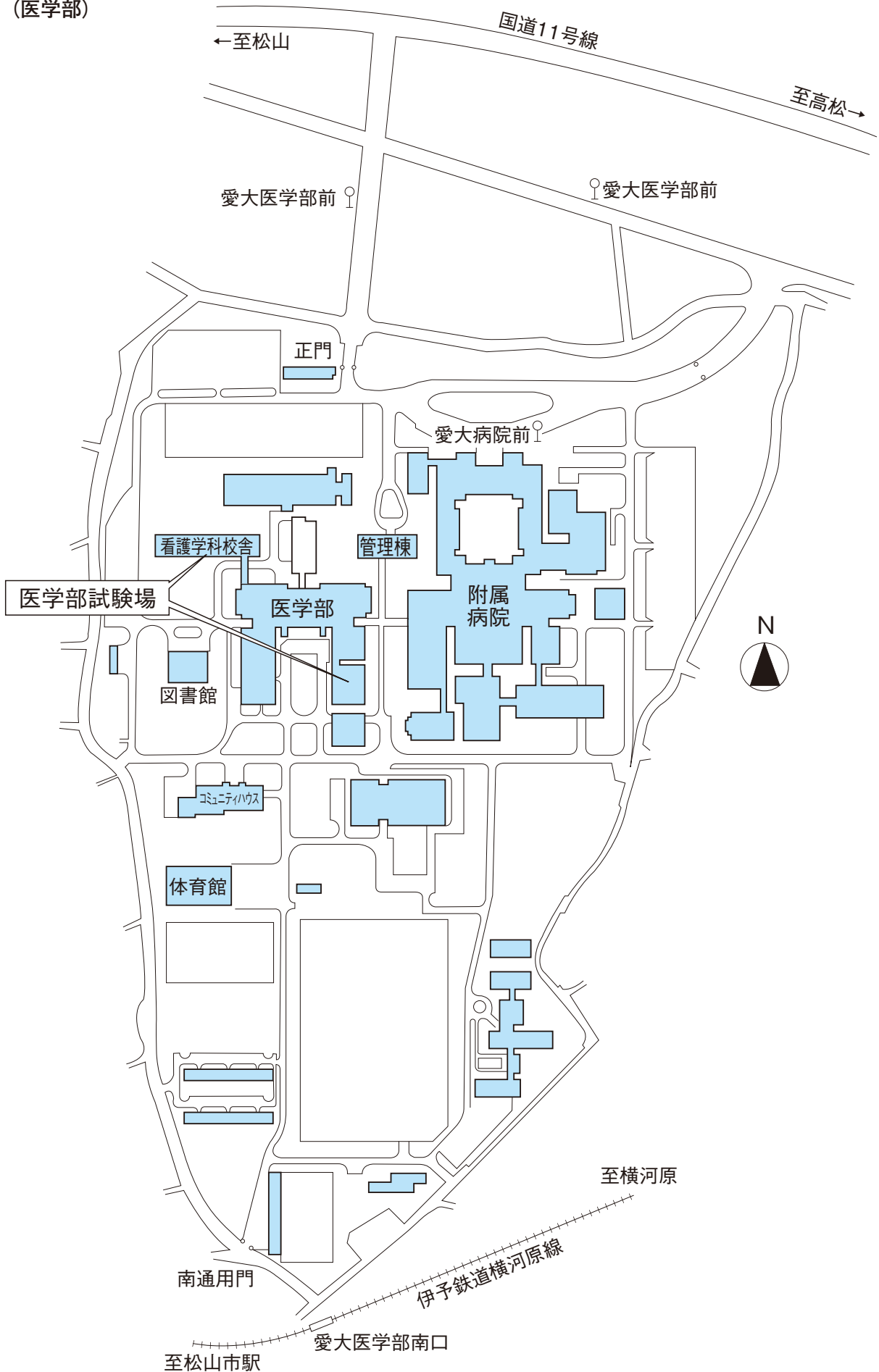
(法文学部, 教育学部, 社会共創学部, 理学部, 工学部)



注 試験場は予定であり, 変更になる可能性があります。試験場については, 受験票送付の際又は送付後に通知します。

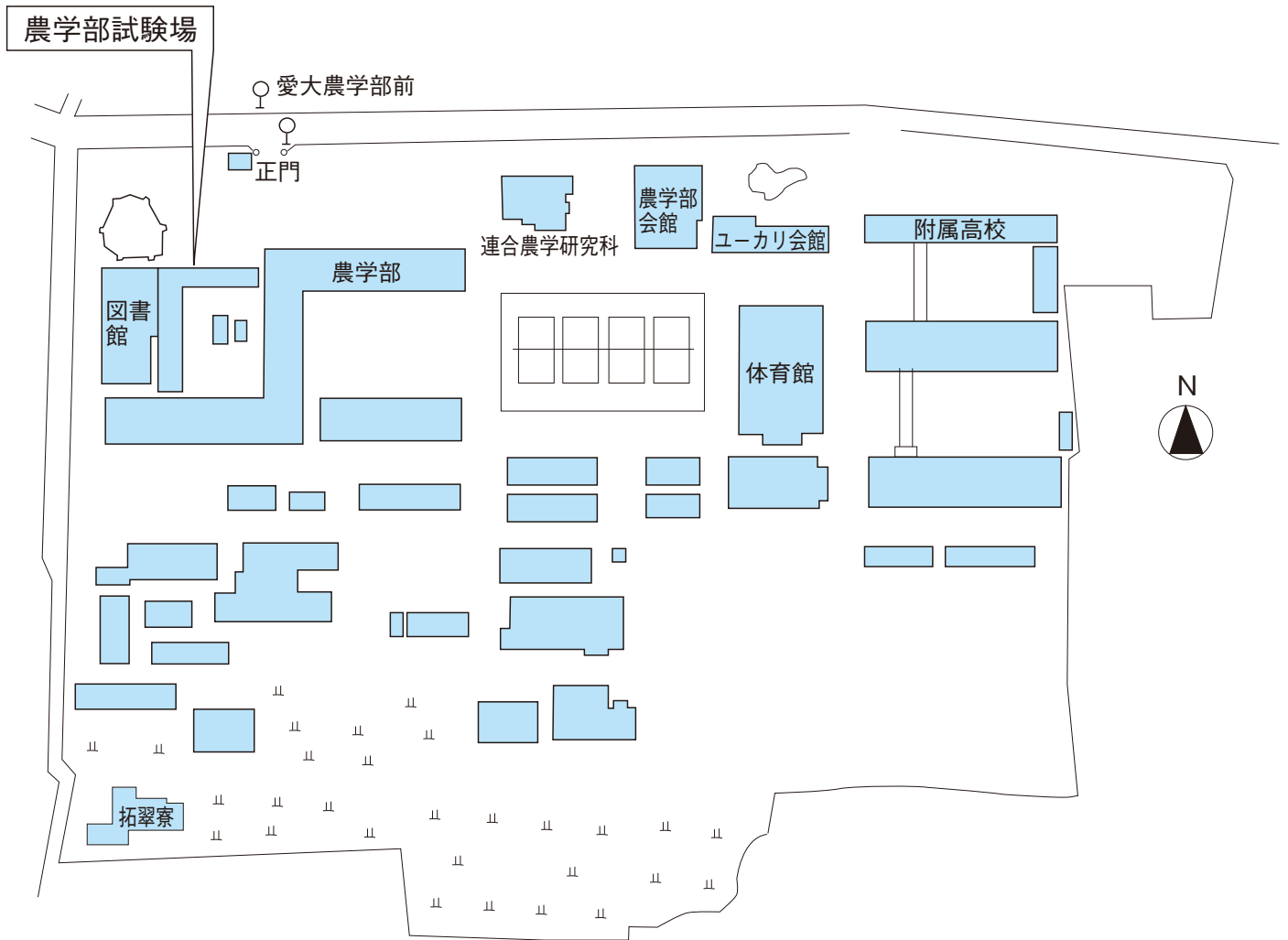
重信キャンパス

(医学部)



樽味キャンパス

(農学部)



交通機関案内

城北キャンパス(法文学部, 教育学部, 社会共創学部, 理学部, 工学部)

● JR松山駅から

伊予鉄道市内電車 ①番環状線 JR松山駅前から古町回り松山市駅行き 乗車約18分 赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

● 松山市駅から

伊予鉄道市内電車 ②番環状線 松山市駅から大街道回り 乗車約16分 赤十字病院前下車 北へ徒歩3分
①番環状線 松山市駅からJR松山駅前回り 乗車約28分 赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

重信キャンパス(医学部)

● JR松山駅から

伊予鉄道郊外電車 大手町(JR松山駅から東へ徒歩5分)から横河原行き 乗車約34分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩10分

● 松山市駅から

伊予鉄道郊外電車 松山市駅から横河原行き 乗車約28分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩10分
伊予鉄郊外バス 松山市駅から川内方面行き 乗車約40分 愛媛大学医学部前又は愛大病院前下車 徒歩10分

● 松山観光港から

伊予鉄バス 高浜駅前行き 乗車約2分 高浜駅前乗り換え
伊予鉄道郊外電車 高浜から横河原行き 乗車約50分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩10分

樽味キャンパス(農学部)

● JR松山駅から

伊予鉄バス 8番線(東野経由)JR松山駅前から道後温泉駅前行き 乗車約24分 愛大農学部前下車

● 松山市駅から

伊予鉄バス 8番線(東野経由)松山市駅から道後温泉駅前行き 乗車約15分 愛大農学部前下車

松山観光港, 松山空港をご利用の方は, JR松山駅前又は松山市駅で乗り換えてください。

● 松山観光港からJR松山駅

伊予鉄バス 松山観光港リムジンバス 松山観光港から道後温泉駅前行き 乗車約20分 JR松山駅前下車

● 松山観光港から松山市駅

伊予鉄バス 松山観光港リムジンバス 松山観光港から道後温泉駅前行き 乗車約26分 松山市駅下車

● 松山空港からJR松山駅

伊予鉄バス 空港リムジンバス 松山空港からJR松山駅前 乗車約20分 JR松山駅前下車

● 松山空港から松山市駅

伊予鉄バス 空港リムジンバス 松山空港から松山市駅 乗車約25分 松山市駅下車

注 電車,バス等の運行時刻については,受験者各自が確認してください。

各種交通機関
ホームページ

●JR四国 <http://www.jr-shikoku.co.jp/>

●松山観光港 <http://www.kankoko.com/>

●伊予鉄道 <http://www.iyotetsu.co.jp/>

●松山空港 <http://www.matsuyama-airport.co.jp/>

入学試験個人成績及び調査書の開示

本学では、一般入試の個人成績（大学入試センター試験成績及び個別学力検査等成績）及び調査書（「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」欄は除く。）を受験者本人に限って開示します。平成30年度の開示は、次のとおり行いますので、希望者は期間内に申し込んでください。

ただし、志望学部学科等の個別学力検査等において、1科目でも受験しなかった場合は、個人成績及び調査書を開示しません。

また、前期日程試験に合格し、入学手続をした後期日程試験受験者も、合格者判定対象外となり、試験成績を開示できません。

請求者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

請求期間：平成30年5月1日（火）～平成30年5月31日（木）

郵送による請求のみとし、この期間内の消印があるものに限り受け付けます。

請求方法：書面（記入例参照）により、平成30年度愛媛大学受験票又は平成30年度大学入試センター試験受験票と、402円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封して、受験した学部の入試係（66ページ参照）へ請求してください。

※請求書等に不備がある場合は、開示することができません。不備がある場合は、請求書に記載されている連絡先に電話連絡をするので、必ず連絡の取れる連絡先を明記してください。

開示方法：当該学部に着後、2週間程度で受験者本人あてに、郵送された受験票とともに、簡易書留郵便で送付します。

（請求書面記入例）

	平成30年	月	日
愛媛大学〇〇学部長	殿		
	請求者氏名	_____	印
	愛媛大学受験番号	_____	
	連絡先 電話	-	-
	入学試験個人成績・調査書 開示請求書		
	平成30年度の〇〇日程試験について、下記のとおり開示請求します。		
	記		
	{ 1. 試験成績 2. 調査書		
	開示請求するものを明記してください。		
	「前期」、「後期」の試験区分を記入してください。		

正解・解答例又は出題意図の開示

本学では、平成30年度入学試験の正解・解答例又は出題意図の開示を次のとおり行います。

掲示による場合

場 所：教育学生支援部掲示場、医学部掲示場及び農学部掲示場

掲示期間：開示日から2週間

「Ⅵ 入学者選抜の教科・科目及び配点等」各学部該当ページの「4 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期」参照

郵送による場合

140円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封し、「〇〇学部（受験した学部）の〇〇（試験科目名）の正解・解答例又は出題意図の開示請求」と朱書きの上、受験した学部の入試係又は教育学生支援部入試課（66ページ参照）へ請求してください。

受付期間：開示日から1か月間

個人情報の取扱い

本学では、出願受付けを通じて取得した氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

愛媛大学入試情報サービス

本学では、入学試験に関する情報を、ホームページ及びスマートフォン・携帯電話サイトで提供します。

なお、自然災害等の発生による試験日程、試験会場の変更等が生じた場合には、「緊急時のお知らせ」として提供することがありますので、御参照願います。

□ ホームページ

本学のホームページでは、「入試情報」の中で、成績開示や各入試の情報等を提供しています。

愛媛大学… <https://www.ehime-u.ac.jp/>

入試情報… <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/>

学生募集要項ダウンロード… <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/>

《提供する入試情報》

提 供 す る 入 試 情 報	提 供 時 期
一般入試学生募集要項の発表	平成29年11月上旬～
大学入試センター試験受験の案内	平成29年12月中旬～
一般入試の出願状況	平成30年1月末～
一般入試合格状況、入学手続の案内	平成30年3月上旬～
追加合格及び欠員補充第2次募集の有無	平成30年3月28日～

注 提供する入試情報は、変更する場合がありますので、あらかじめ御了承願います。

□ スマートフォン・携帯電話サイト

資料請求方法、出願状況速報（一般入試）などの各種情報をスマートフォン・携帯電話で閲覧できます。

URL <http://www.daigakuje.jp/ehime-u/>



愛媛大学教育学生支援部入試課

〒790-8577 松山市文京町3番

☎089-927-9172,9173

入試に関する電話による照会(お問合せ)は、月曜日
から金曜日(祝日、年末年始を除く。)の9時から17時の
間とし、原則として志願者本人が行ってください。